

2015年度緑鳳学会大会・パネルディスカッション ミシェル=ベルンシュタイン文庫史料の学際的活用

座長・近 江 吉 明

はじめに

本学が、創立百周年記念事業（1977年）の一環としてフランスの古書籍業者ミシェル=ベルンシュタイン氏（Michel Bernsteun, 1910～2003）から約3億円で購入したフランス革命関連史料（「ミシェル=ベルンシュタイン文庫」約47,000点）の整理・調査の作業は、図書館や文学部歴史学科の関係者の努力の中で完了しつつある。それらの成果は、仏文『年報』*Annales des Etudes de la Révolution française et la Collection des documents de Michel Bernstein*（Centre d'Etude des Documents de la Révolution française de l'Université SESHU）で公表されている。

また、フランスの仏革命史研究者やアルシヴィストとの交流も深まり、「ベル文」の史料的価値についての本格的な分析も始められるにいたった。とりわけ『フランス革命史年報』（*Annales historiques de la Révolution française*）の発行母体である「ロベスピエリスト研究協会」（Société des Etudes Robespierriettes）やオート-ロワール県やオルヌ県などの県図書館との共同研究は、フランス側に「ベル文」の存在を広く知らしめることとなった。

それらの試みの下での成果の一部が、2016年1月に『ある体験を記述する：国民公会議員たちの物語と記憶』（Michel Biard, Philippe Bourdin, Hervé Leuwers, Yoshiaki Omi, *L'écriture d'une expérience: Histoire & mémoires de Conventionnels*, Paris, 2016）と題してパリで出版されている。

こうした「ベル文」をめぐる国際的な注目の進展に合わせて、緑鳳学会では2015年度の年次大会で「ベル文」史料群を本学の社会知性発信の戦略的拠点の一つと位置付け、これらのグローバルな活用をめざし、緑鳳学会関係者による各専門分野の分析視角を総動員して「ベル文」の多角的な価値を見極めようとパネルディスカッションを行なった。

当パネルディスカッションでは、「ベル文」史料群について、法律・経済・社会・政治・文化・教育などの各専門分野のそれぞれの立場から関係する史料の抽出とそれらの史料概要の分析を深め、当該史料に内在する今日的価値を見出そうとした。この試みによって、「ベル文」が単に歴史学の史料としてのみあるのではなく、学際的な諸分野の専門研究に資することになり、さらには、各学部教育での活用や大学院での研究者養成の土俵としても機能することを展望することになった。

かくして、統一テーマ「ミシェル=ベルンシュタイン文庫史料の学際的研究」（2015年度）の下に、記念講演と4名のパネラーによる小報告・パネルディスカッションが実施された。以下は各パネラーによって検討された史料群とそれらの概要報告である。

ミシェル=ベルンシュタイン文庫内の(再)発見に値する手稿史料

ノルマンディー大学・ルーアン校仏革命史講座主任教授

フランス-ロバスピエリスト研究協会会長

ミシェル=ビアール

(翻訳・近江吉明)

ミシェル=ベルンシュタイン（以下、ベルンシュタインと略）は、数十年にわたってフランス革命期の史料やそれに関連する書籍類を収集し、一種の学芸員のような役割と、また、古書籍の一種の「運び屋」のそれを自ら同時に演じることによって仕事を完成させました。彼は、絶えず、新たな購入書籍によって自らの蔵書をより充実させ、その整理のためにフランス国立図書館の数巻にわたるフランス革命関連史料目録（研究者たちは、それを<マルタン-ヴァルテール>と呼んだ）を利用しながら目録を作成し、また、多様な方法を駆使して、何巻にもわたって装丁され通し番号の付いた史料収集本に製本して保管することに気を配っていました。ということから、彼は有能な学芸員でもあり蔵書家でもあったのです。次いで、彼の興味の対象は明らかに単純ではありませんでしたから、彼は古書籍の「運び屋」ともなったのです。フランス革命関連史料は偶然に集められているのではなく、いわんや、ロシア系のユダヤ教徒で反帝政ロシアの革命家で亡命せざるを得なかった彼の父親、レオン=ベルンシュタインによって譲渡された史料のような政治的遺産に加えて集められたのでもありません。彼としては、ある革命からもう一つの革命への単なる文化的転移、あるいは現在の実態と突き合わせるための不確かな過去のモデルとしてではなく、次世代のために保存すべき遺産や記憶が重要だったのです。ベルンシュタインが自分のコレクションを、研究者には参照を禁じ、彼自身の喜びのために留保された私的縄張りとは決して捉えていなかったという事実が、そのことを示しています。EDHIS (Editions d'histoire sociale 社会史) 出版会の創設者、レオン=サントネルと彼の協力のなかでは、彼のコレクションに基づいた史料集が出版社によって出版されるには問題がありませんでした。このことは、もし必要があれば、このようにベルンシュタインが革命関連史料の「運び屋」として行動することもあることの証明であります。小冊子、パンフレット、新聞は彼のコレクションの中核をなしていますが、同出版会で出版されるには問題がありませんでした。一方、コレクションの中に存在している手稿史料を書き写し、出版することが、それとは全く別の業績で、全然異なった方式による挑戦にもなっていたのだが、そこまではしなかったのです。

専修大学によって作成されたコレクション目録は、整理番号Folio 1～77, Plano 1～44に分類された約2,000点の手稿史料を明らかにしています。一見したところ、このような参考史料全体は、全体の中で、時には史料ごとにベルンシュタイン文庫本体とは比較されてはいるのですが、付随的なように見えます。このように、当コレクションは、手稿史料よりも新聞やパンフレットのほうが非常に豊富であることは明白であります（手稿史料2,000点に対して小冊子類は約40,000点であります）。ベルンシュタインが手稿史料獲得にそれほど気にかけていたようには思えないということは認めざるを得ません。彼は、蔵書家であって、自筆の手紙の収集家ではないのです。彼のコレクションの売却時に専修大学宛に出された書簡がそのことを証明しているように、彼の若い時の最初の購入史料は、彼の収集の変遷を部分的に規定していたのです。それは、その後においても、手つ

かずの書庫、あるいはある蔵書家が亡くなった後の書架部分の購入に至った時でも同様でした。彼にとって手稿史料は購入の優先的目標ではありませんでしたし、それらは恐らくその時々的好機に任せて彼の収集品に収められているのです。とりわけ新聞『フランス-ソワール紙』への彼の協力の最初の頃に、車での何回もの東奔西走が彼に許されていた時の数年間における地方旅行で行なわれていたのです。だからといって、ベルンシュタイン文庫の中では二次的であるとみなされたものでも、これらの手稿史料は、そのいくつかが往々にして唯一の手稿史料として所蔵され別の整理番号が付され存在しているだけに、それでもなお大変貴重で、活用するに値するものなのです。ここでは、ベルンシュタイン文庫のこれらの手稿史料のグローバルな取り扱い方の諸例といくつかの注目を提示したいと思います。

これらの手稿史料を目の当たりにする者が一目見て引き付けられるのは、ベルンシュタインによる文書類の買い取り方そのものと関連する多様性であります。この多様性こそが理由で、それに、論理を極端にまで推し進めたら、各史料群とも一定の事例研究に値するというようには思えません。おそらく、首尾一貫した広がりた研究を可能にするのに十分に豊富なフランス南西部のカステルノーという町に割り当てられた史料群は例外としていますが、それも地方史以外の関心を先見的には持っていないのかもしれませんが。同じく、フランス植民地のサン-ドマングに割与えられた一群の史料群も研究者の注意を引き留めるものです。私自身も、その中の史料の一つであります。1791-1793年の深刻な混乱の後の、1794年夏に帰還した亡命植民者のジャック=ルビュ(Jacques Rebut)によって行われた革命歴3年(1794年)の声明を分析することが出来ました。フランスで自由に使用できる他の史料集で裏付けられる4ページにわたるこの手稿史料は、サンドマングでの事件に関する、または、ルビュだけの個人的なケースを超えるそこから亡命者たちの境遇についてのきわめて貴重な証言として注目されるでしょう。

これら二つの例以外の、何点かの他の事例では、同じように注目に値するものとして考えるに十分な史料群を指定出来るように思います。そのようなものとしては、例えば、国民公会議員であったザンジャコーミ(Zangiacomi)の私的古文書に由来する書簡類のケースがあります。彼の『ナンシーについての覚書』という書類は、彼が観察委員としての立場を貫こうとしつつも、1790年夏の間におけるシャトーヴューのスイス人連隊の反乱についてのところと、彼が二つの党派に分裂させられたと描くナンシー内部の政治的対抗に関するところが非常に面白いです。こう言っています。「真相を探し求め、人々を見分け、祖国愛を識別し、偽善の仮面をはがし、こうして各人をきちんと整理しなければならなかったのは、相互の告発、意見の対立さらには党派同士の憎悪の渦巻く真只中においてであった」と。また、13ページにわたって綴られたこの史料のそばにある、ザンジャコーミのファイルには、ブルターニュにおける反革命の活動、とりわけ、1792年における亡命者の上陸計画に関係する多様な書類が、ザンジャコーミによって保安委員会宛に作成された報告書とともに含まれています。最後に、それらとは全く違う種類のものですが、記録簿のある綴りには、オート-ロワール県選出の国民公会議員で、フランス北東部の派遣議員として派遣され、次いで1793年秋から1794年1月末までモーゼル方面軍に派遣された、バルタザール=フォール(Balthazar Faure)によるザンジャコーミ宛の3通の書簡があります。革命歴3年プレリアル11日、テルミドール24、26日(1795年5月30日、8月11日、13日)日付のこれら書簡は、3通ともナンシーの情勢に関するものなのですが、それらはテルミドール事件後、<反動派>として扱われた山岳派

の政治的意識について説明しているのです。事実、山岳派の元派遣議員として告発されたフォールは、革命歴3年5月に、幾分なり変節とも読み取れる言葉で、「同志よ、私は許しを求めていますませんが、公平さと、私が遂行した派遣議員時代における良い恩恵を考慮するよう求めていることが考慮され、私の過失が許されるのを求めているのです。なぜなら、テルミドール9日まで私が誤った考えの中にいたことを、また、ジェルミナル12日になってしかそうした偏見から素直に目を覚ませなかったということを君に告白しているからであります」と書いています。このように、共通の論点を含むものとして、ザンジャコーミ個人及びナンシーの町にしか関係のない、全部で3通からなる書簡であるが故に、これらの手稿史料は研究者にとって間違いなく重要な未見の史料ということになります。

史料群はタイプや内容が全く同じようにばらばらな他の例として、1793年1月20日に暗殺された国民公会議員の同志フェリックス＝ル＝ペルティエ (Félix Le Peletier) — その時、彼の遺品はパンテオンに移されているが — に割り当てられた同様の書類綴りがあります。確かに、それらの多くの部分は唯一の史料あるいは少なくとも原史料から構成されているようには見えません。さらに、より極端な例としてテリエ (Tellier) に関する場合は唯一の書簡があります。彼もまた、国民公会議員でありましたが、何ともすごい書簡であります。事実、シャルトルへの派遣議員であったこの民衆の代表はデモ参加者の要求の前に屈するよう強制されているのです。その結果、彼にとっては恥辱であったため生き延びようとは望まず、革命歴3年捕捉日 (1795年9月17日) に自殺することを選択したのであります。致命的な行為に至る前に、彼は数通の書簡を認めています。その内の一つは地方当局に宛てたものですが、「私は完全な私の委任権に仕えるべくやってきた。私は忠誠と誠実心を身に付けた派遣議員として幾つかの好結果を期待してきた。しかし、私への報いは屈辱であった。私はそうしてまで生き延びようとは思わない。無知と無分別の罪を犯すよりも、むしろ私自身の手で死ぬことを欲する。(中略) 私は、尊敬すべき私の父から受けてきた純粹さと同様に、私の子供たちに伝えてきた誠実さを私の遺産として死ぬことにする。さらば。テリエ」と書いています。自殺直前のほんの数分間に書かれたものであるがゆえに、より感動的な証言であります。

さて、これらの事例は別としてベルンシュタイン文庫は、研究以前のこととして手稿史料の性質を明確にすることをまだ必要としています。事実、当文庫の多くの部分は、唯一の史料あるいは原史料によって構成されているというようには見えません。当文庫のポスター、小冊子、新聞などに関しては、インターネット活用による公開された限りない情報のおかげで、その希少性、さらには世界において唯一のものであるといった、その態様を確認することは可能であるにしても、手稿史料に関しては、なすべき仕事はほとんど不可能であるといってよいでしょう。

ここでは、フランス革命期が、すべてのジャンルの文書に関してははっきり残された時代であり、この時期の手稿史料の大部分が写しを書き留めているということを想起すべきであります。例えば、ある国民公会議員がある県の派遣議員としてある条例を作成した時には、この原文は必然的に何点かの写しの対象になるのです。各派遣議員が次の赴任に際し使い方はある程度自由ですが、金額は限定されていて、万一の場合には派遣先の現地で交付額が補完される以上、派遣議員は任務の後でそれを取り戻す責任を持っているだけに、慣例として、直ちに原本を保管しえたのです。しかも、同じ条例は、一方では中央権力 (国民公会かその関係委員会宛、特に1793年及び革命歴2年にあっては公安委員会) 宛に、また、他方では複数の関係する地方行政機関宛に届けられるよう用意され

た書類に必ず写されたのであります。条例の内容が関係する県内のすべての町村にわずかでも関係すれば、県（議）会に送られたその写しは直ちに複写され郡会宛に送付され、次いで、それぞれの地区の町村会宛に複写され、条例の権限が広げられたのです。このように、原文書と全く同様の一通の手書き文書は、もちろん、その流布が同種の印刷物や張り紙を伴う場合でもこの方式を無視することなく、数十の手書き文書に増やされています。こうした状況下にあつて、原文書はどのように割り出されるのでしょうか？その文書が書き方において精通したものである限り、その文書自体が以前には全く明らかにされていないものでも、関係した国民公会議員の文体を他との比較により見分けることが考慮されるべきでしょう。しかし、ほとんどの場合、国民公会の派遣議員は秘書官を同行させていますので、状況はさらに複雑になるのです。つまり、議員はその命令文書を自ら作成することなく秘書官にそれを書き取らせ得たためです。このような場合、秘書官の書き方を見分けることは奇跡に等しいでしょう。というのも、彼らの大部分が市民であり無名も同然であったからです。要約すれば、ベルンシュタイン文庫にある国民公会の派遣議員関連史料は、99%の確率で唯一の史料ではなく、また、その90%は原史料ではない可能性もあります。そして、同じような論理は、大多数の手稿史料に関しても、革命の間は写しを取ることが一般的であったということを検討すれば、適用されるはずなのです。

もう一つの例を引き合いに出せば、ベルンシュタイン文庫にはタルジェ（Target）の事例についての非常に面白い多くの史料が含まれています。革命期初期の頃の重要な人物である彼が、後になってから告発の標的になっているのです。革命暦9年ヴァントーズ8日（1801年2月27日）に、オム（Hom）というある市民がタルジェに有利な手紙を書いています。そこでこの者は二つの文書をつなげているのです。その一つは1792～1793年の冬の時期の国王裁判におけるタルジェによるルイ16世擁護の印刷文書です。もう一つは、革命暦3年プレリアル7日（1795年5月26日）日付の、「武器を持った人」というパリのある支部の審議記録簿に関する手稿史料の抜粋です。それ故に、私たちはそこに二つの手稿史料部分と印刷史料を手にすることになるわけです。だからといって、最初の二つの部分の文体は全く同じというわけではありません。記録簿の抜粋はそうであるからこそ写しの部類に属するものなのですが、オムの書簡は、これが原史料で唯一のものであるとの思い込みが強いのです。そのうえ、オムはそのことを次のように書いて自ら詳しく説明しているのです。それは、「一つは、口頭での弁護を拒否した2日後に印刷された国王擁護のものであり、もう一つは、あえてタルジェを告発している人々に反論する彼の支部の全体集会での命令書の写しであるところの、これら二つの書類を私は貴方方に送付する」というものです。

最後に、これに似たような手稿史料に加えて、以下のように手稿史料でありながらもそれとして扱われていないベルンシュタイン文庫にある他の手稿史料について言及する必要があります。ここでは、印刷物の余白に書き加えられたものなのですが、そのままの手書き注釈文について言及することにします。最初の例ですが、1792年6月20日のデモの時に国王によってもたらされた侵害に抵抗するルーアンの町の住民の請願書が、どのようにして印刷され、かつ、恐らくは少なくともノルマンディーとパリでどのように大きく広められたのかを、私が明らかにしたものです。この史料は、確かに数百部に複写されているという、まさにその理由で、それ自身としては重要な価値を全く持っていなかったものなのです。にもかかわらず、ベルンシュタイン文庫にあるその史料は、明らかにその場でカットなって書かれた政治的解説とともにペン書きでたくさん注釈されているので

す。しかし、そのことがこの書類を完全に世界中で唯一のものにしているのです。

二つ目の例は、ベルンシュタインが、第一次世界大戦中の社会主義者の陸軍大臣であったアルベール＝トマ (Albert Thomas) の書庫にあった一山の文献を購入したのですが、その中にアルベール＝マティエ (Albert Mathiez) の数冊の著作があるのです。ところが、そこにはマティエの自筆の献辞が書かれていまして、これらの献辞の内容のまさにその経過が二人の人的関係の進展を明らかにしてくれるのです。おそらくは、ベルンシュタイン文庫においては著者の献辞に関する調査目録作成に導く体系的調査ができるはずです。

第三の例は、革命の間に生みだされた政治結社に関係した大量の印刷史料をベルンシュタインが取得したのですが、それらの大部分には、これらの文書が送られるところの届け先を指定する手書きのあて名がその裏に認められることです。ところが、見かけは取るに足らない手書きのこの記載が、それどころか大きな重要性を示しているのです。というのも、同一の政治結社に関しての組織連絡網を明るみにするのを可能にしているからなのです。

おわりに際して、私は稀に見る際立った最新の事例に言及したいと思います。アン県の県庁、ビュール＝ガン＝ブレスの町に割り当てられた二つの目録が重要なのです。一つは、『1790年版の愛国的寄付金に関する入金帳簿の役目を果たすアルファベット順目録』で、二つ目は、日付はないものの、その対象からしておそらくは1793年の『強制公債に関する勘定書』と題したものです。ビュール＝ガン＝ブレスにある県文書館で比較して行われた確認では、これら二つの目録が唯一の書類のようであり、従って、ブレス地方の都市史にとってきわめて貴重なものだと言うことになります。

最初の方は、1790年に支払われた愛国的寄付金に相当するものであります。51ページからなり、町在住の800人近い市民のアルファベット順の調査目録を作っています。そこには、「申告した者の氏名」、「申告額」、「総収入額」、そして入金日が付与されていまして、これら市民の大部分には、さらに住所と、ところどころには職業も表示されているのです。という次第で、この目録は、1790年におけるビュール＝ガン＝ブレスの社会階層の一種のスナップ写真を写しだしているといえるのです。確かに、申告に関しての信頼度は同時期のフランスのほとんどの町村同様に不確かであるにしても、一方では、3リーヴルしか支払われないと表明する市民や、その大多数が二けたないしは三桁の額でしかない市民と、他方では、断然より多くの額を申告する市民とを区別してくれるのです。高額申告者としては、弁護士のヴァンサン (1,200リーヴル)、ノワリア＝ド＝ヴォローニャ (1,400)、税徴収人のヴァレンヌ＝ド＝フニユー (4,000)、ドウトゥール＝ヴェイヤール (9,000) がいます。

同様に、目録は明らかに団体からの寄付の申告を浮き彫りにしています。例えば、司教座聖堂参事会が1,886リーヴル、ドミニコ会士 (1,500)、布教信心会総長 (1,375)、ブルー修道院傘下のオーギュスタン修道院長、ルソレ司祭 (3,000) などが挙げられます。

他方の、1793年に強制公債を課せられた市民名簿は55名が記載されていまして、もちろんのこと1790年目録からも関連付けることが可能です。例えば、ペッリュケ＝ド＝ベヴィーという名の市民は、愛国的寄付金としては1,872リーヴルを表明しているのですが、461リーヴルと見積もられた価格の「銀製品からなる受領証」を付け加えることを要請していることがわかります。1793年にも、同一人物は、それ以降ペッリュケ＝ベヴィーと呼ばせるために自分の名前から貴族名のドゥ (de) を取りはずしていましたが、3,426リーヴルにもなる「課税を免れない額」を保持していました。その結果、強制課税としての税額は770リーヴルに達しているのです。

この最後の事例は、ベルンシュタイン文庫の手稿史料の豊かさと限界を同時に説明しているように私には思えるのです。たとえば、革命期におけるプレス地方の社会について調べている研究者にとって、まずもって重要な史料があるとします。したがって、それはアン県文書館の責任者でもおそらく所蔵することを夢見るかもしれないような史料だとします。しかし、それでもなお、フランス革命史にとっては、どちらかといえば二次的関心にとどまっていますし、または詳細なそのような研究があったとしても、我々に革命認識の激変を生じさせることはほとんどないでしょう。要するに、ベルンシュタインによって辛抱強く獲得された史料全体を完璧に反映しているように思えるのですが、つまり、多様でかつ豊富な史料であるということなのです。だからといって、たとえばモスクワに保管されたバプーフ文書と同様の重要な価値があると主張することは全くできないでしょう。もっとも、これは部分的にはおそらく（ベルンシュタインの父親であります）レオン=ベルンシュタインの活動のおかげといえますが、彼がフランスで購入したフランス革命の史料は、その後、彼の友人のリヤザノフ（Riazanov）によって運営されていたマルクス-エンゲルス研究所の蔵書部に送られたものだからです。

報告（1）「ベル文に見られる人権理念の痕跡とその特徴」

森 田 悦 史（国士館大学法学部）

人権と言えば、1789年8月26日に宣言された「人間と市民の権利宣言」（人権宣言）はあまりにも有名である。しかし、注意しなければならない点がある。この宣言では確かに人間が「生まれつき自由かつ権利の点で平等な」存在であり、「自由、所有権、安全権、抵抗権」を持つことが宣言されているが、「所有権」の確認は「神聖かつ不可侵」と強調されつつも、「平等」の実現に向けた実質的な言及はない。

これらについては、革命期に可決された各期の憲法においてどのように規定されていたかが問題となる。「91年憲法」は憲法制定国民議会において作成され可決されたものであり、「93年憲法」は国民公会で、「95年憲法」は総裁政府で検討され可決されている。

森田報告では、各段階の憲法の法制史的整理の上で、男子普通選挙か能動市民による制限選挙かによって人権関連問題についての認識に変化のあったことを強調している。ヴァントーズ法につながる土地問題や共有権をめぐる対応、奴隷制廃止宣言の中核をなす黒人奴隷制への基本姿勢、オランブ=ドゥー=グージュ（Olympe de Gouges, 1748-1793）の「女性の権利宣言」が提起する女性の権利への眼差しなどが注目された。

Droits des hommes

1 黒人と奴隷の売買

Traite des noirs et l'esclavage ; [1] - [5].-- Editions d'histoire sociale; 1968.-- (La Révolution

française et l'abolition de l'esclavage ; A ; t. 1-5)

2 人権に関する地区市民について

Les citoyens de la section des droits de l'homme sont prévénus que décadi prochain vingt fructidor ...; 1794

3 国民公会で発表される憲法計画、共和暦2年、1793年2月15、16日

Plan de constitution présenté a la Convention nationale, les 15 & 16 février 1793, l'an II de la République.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

4 国民公会で発表される憲法計画、共和暦2年、1793年2月15、16日

Plan de constitution présenté a la Convention nationale, les 15 et 16 février 1793, l'an II de la République.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

5 フランス革命および、自由と自由に反するヨーロッパの圧力による陰謀についての考察、またはオランダ政府の声明についての検討

Considérations sur la révolution française, et sur la conjuration des puissances de l'Europe contre la liberté & contre les droits des hommes, ou, Examen de la proclamation des gouverneurs des Pays-Bas / par Dominique-Joseph Garat Chez Buisson, imprimeur-libraire ...; 1792

6 ピカルディーの議員であるモリ神父の意見：植民地に集まった人々を

Opinion de M. l'abbé Maury, député de Picardie : sur le droit d'initiative que réclament les assemblées [sic] coloniales pour toutes les loix relatives à l'état des personnes dans les colonies, & sur l'admissibilité des hommes de couleur aux droits de citoyen actif, ou aux emplois publics : prononcée dans l'Assemblée nationale, le vendredi 13 mars [i.e. mai] 1791.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

7 憲法制定議会の各種民衆協会に関する書簡、能動市民の権利を要求する昨今話題の植民地の有色人種の権利を要求するもの

Lettres des diverses sociétés des amis de la Constitution, qui réclament les droits de citoyen actif en faveur des hommes de couleur des colonies.-- De l'imprimerie du Patriote français; 1791

8 市の財産の1/3を得る権利に関する覚書

Mémoire sur les droits de tiers denier des biens communaux, et de troupeau a part, usités dans la Lorraine, le Barrois et le Clermontois : à la séance de l'Assemblée nationale, du 5 mars 1790 / M. Grégoire, curé d'Emberménil, a lu un mémoire conçu en ces termes.-- [s.n.]; 1790

9 フランス人の構成についての総括または、自然、社会、君主制の秩序における人権について

の報告

Vues générales sur la constitution française, ou, Exposé des droits de l'homme dans l'ordre naturel, social & monarchique / par M. Cérutti.-- Chez Desenne, libraire, au palais-royal; 1789

10 名士会で提案された主題

Objets proposés à l'Assemblée des notables / par de zélés citoyens ; [1], [2].-- A l'imprimerie Polytype ...: 1787

11 慈愛に満ちた書簡：不幸、権利、そしてサンドマングやアメリカ大陸のフランス領の島々にいる有色人種の権利についての報告、ムルト県議員でデマンベルメニルの司祭であるグレゴワール氏によるもの

Lettre aux philanthropes : sur les malheurs, les droits et les réclamations des gens de couleur de Saint-Domingue, et des autres îles françaises de l'Amérique / par M. Grégoire, curé d'Emberménil, député du département de la Meurthe.-- Chez Belin, libraire ... : [Chez] Desenne, libraire ... : [Chez] Bailly, libraire ... et au bureau du Patriote français ...

Droits de la femme

1 破棄院の判決、原告である国有地管理人と被告人ブランシュアンと彼の妻に下されたもの、彼らは、フジュール区の裁判所の判決を破棄し、1790年12月5日の法により、得ることができた税の支払いからの自由を求めている。これらの行為は定められた期間の満了後であり、法が成立した以前は、支払いを行っていたためである。これは、この方法に相反するものである。上記にあるように法22条である。共和暦2年メシドール14日

Jugement du Tribunal de cassation, rendu entre l'agence des domaines nationaux, demanderesse, Blanchouin et sa femme, défendeurs : qui casse un jugement du tribunal du district de Fougères, attendu qu'il affranchit du paiement des droits portés par la loi du 5 décembre 1790, des actes, après l'expiration des délais prescrits, pour les présenter au paiement des droits antérieurement établis, ce qui est contraire à l'art. 22 de la loi ci-dessus mentionnée : du 14 messidor, l'an 2.-- De l'imprimerie de C.F. Perlet, imprimeur du tribunal; 1794

2 破棄院の判決、原告であるクロード=パロンとその妻と被告であるマルグリット=ショビールの間で下されたものである。この判決の受理を認めないパロン夫人に息子ジャン=ジラルとマドレーヌ=ウソンに起因する税の支払いを求める。彼に洗礼証明書を確認するためである。支払い命令の効力の改革、これは1667年の命令である22条の7項に反する

Jugement du Tribunal de cassation, rendu entre Claude Parent et sa femme, demandeurs, et Marguerite Chauviere, défenderesse : qui casse un jugement du tribunal du quatrième arrondissement du département de Paris, attendu que ce tribunal a déclaré la femme Parent non-

recevable à demander l'exercice des droits résultans de sa qualité de fille de Jean Girard et de Madeleine Husson, qualité que lui assure son acte baptistaire, réformé en vertu d'une ordonnance, qui subsiste dans toute sa force, ce qui est contraire à l'article 7 du titre XX de l'ordonnance de 1667 : du 25 mai 1793.-- De l'imprimerie de C.F. Perlet, imprimeur du tribunal; 1793

3 風俗的な歌の状況：人権、女性の権利、そしてほかの風刺歌について

La constitution en vaudevilles : suivie des droits de l'homme, de la femme & de plusieurs autres vaudevilles constitutionnels / par M. Marchant.-- Chez les libraires royalistes; 1792

4 女性の権利

Les droits de la femme : à la reine.-- [s.n.]; 1791

報告 (2) 「ベル文が語る社会保障理念を巡る議論の歩み」

馬場 純子 (専修大学人間科学部)

1789年から1791年にかけてアンシャン-レジム期の中間団体（ギルドの同業者組合、都市や農村の救貧院体制など）が廃止されていったが、その中で、貧者の援護も国家の役割であるとの認識が一段と高まった。「91年憲法」では、「捨て子を養育し、貧しい病人を助け、職を得ることのできない貧しいが健康な者に職を与えるため、公的扶助に関しての全般的な施設が創設され組織されるものとする」と規定されるなど、今日いうところの「社会保障の理念」が構築され、同時にその実態調査も進められた。しかし、現実が増えつつある貧者を前にして、革命政権はその理念の確立以前に、日々の生活に苦しむ経済的、社会的、世代間的、身体的、性的な弱者、さらには自然災害等により援助を求める難民の救済を手探りで進めながら、同時に、新たな法規定、新しい社会と人間に対する包括的な扶助制度の確立が求められた。

馬場報告では、現在の日仏における社会保障全般の概要との比較で「ベル文」に確認できる革命の各段階の政策の実態とその特徴、及びそれらの史料的価値を明らかにした。これまでの研究では、カミーユ=ブロック、アレキサンドル=チュエッティ編の『救貧委員会報告』（『フランス革命の経済史に関する未公開資料』叢書の1巻、1911年）が利用されてきた。しかし、「ベル文」の社会保障関連史料は、1790年～1795年までのものが多く、とりわけ国民公会期の社会保障関連史料を網羅している。国民公会期の研究が少ない状況を考えれば、これらの「公的救貧委員会」に係わる貴重史料を丹念に読み解く研究が大いに期待できるとした。

Comité des secours publics

1 公的救済委員会、共和国における諸郡の代表部の行政について

La commission des secours publics, aux administrateurs des directoires des districts de la République.-- De l'imprimerie de Rodiere, troisième année républicaine; 1795

2 国民公会における公安委員会の布告記録についての要約、共和暦3年、プレリアル8日：公安委員会、公的救済委員会の報告を検討後、布告：第1項、毎日医師や共和国の軍事病院の従業員に80オンスの軍用パンと肉を供給すること

Extrait du registre des arrêtés du Comité de salut public de la Convention nationale, du 8e. jour de prairial, an 3e. de la République : le Comité de salut public, après avoir pris connoissance du rapport de la commission des secours publics, arrête : article premier, il sera fourni chaque jour, jusqu'à ce qu'il en ait été autrement ordonné, aux officiers de santé et employés d'administration des hôpitaux militaires de la République, une ration de pain de munition de vingt-quatre onces et une livre de viande [s.n.]; 1795

3 共和暦3年、プレリアル12日、国民公会における公安委員会の布告記録：公安委員会、公的救済委員会の報告を聴講後、布告

Extrait du registre des arrêtés du Comité de salut public de la Convention nationale, du 12 prairial, an 3e. de la République française ... : le Comité de salut public, après avoir entendu le rapport de la commission des secours publics, arrête : article premier, les directeurs des hôpitaux militaires verseront chaque mois, dans la caisse des receveurs de district, les sommes laissées par les militaires décédés à l'hôpital, lorsqu'elles n'auront point été réclamées par les héritiers [s.n.]; 1795

4 救済員会：オム・アルメセクションの民衆委員会の会員に対する救済員会の報告

Secours publics : la commission des secours publics aux membres des comités civils de la section de l'Homme Armé; 1794

5 政令の報告と計画、国民公会にて発表、保安委員会、公安委員会の名において、ヴァリデによって報告

Rapport et projet de décret, présentés à la Convention nationale, au nom des comités de sûreté générale et de salut public, par Vadier.-- De l'Imprimerie nationale; 1794

6 政令の報告と計画、公的救済委員会の名においてランド県の議員ロジェ=デュコによるもの：ドルモンとその周辺地域の委員会の農民の要求について、ブリュメール1日の追加項目である16項に対して、その項目は果物の損失のために国の補償金を農民へ与えることを拒んでいる

Rapport et projet de décret, présentés au nom du comité des secours publics, par Roger Ducos, député du département des Landes : relatifs aux réclamations des fermiers de la commune de Dormans & autres environnantes, contre l'art. IX du décret additionnel du premier brumaire, qui exclut les fermiers de la prétention aux indemnités nationales pour perte de fruits.-- De

l'Imprimerie nationale; 1794

7 公安委員会による報告、問題の解消と救済、国家の防衛者の家族に対する手当、補償金、そして救済について、コロ-デルボワによるもの、プレリアル4日の審議

Rapport fait au nom des comités de salut public, liquidation et secours, réunis : sur les pensions, indemnités et secours à payer aux familles des défenseurs de la patrie / par Collot-d'Herbois, séance du 14 prairial.-- De l'Imprimerie nationale; 1794

8 政令についての報告と計画、啞者たちのための施設の組織について、プリュビオーズ9日、6月28日の政令後、ランド県議員コロ-デルボワによるもの、公的救済委員会の名において

Rapport et projet de décret, sur l'organisation des établissemens pour les sour[d]s-muets, d'après les décrets des 28 juin dernier (vieux style) , et 9 pluviôse, par Roger-Ducos, député par le département des Landes, au nom du comité des secours publics.-- De l'Imprimerie nationale; 1794

9 公的救済委員会、共和国の諸コミューンにおける監督官の委員会と自治体に対して

La commission des secours publics, aux municipalités & comités de surveillance des communes de la République.-- [s.n.]; 1794

10 公安委員会による報告、問題の解消と救済、国家の防衛者の家族に対する手当、補償金、そして救済について、コロ-デルボワによるもの、プレリアル4日の審議

Rapport fait au nom des comités de salut public, liquidation et secours, réunis : sur les pensions, indemnités et secours à payer aux familles des défenseurs de la patrie / par Collot-d'Herbois, séance du 14 prairial.-- De l'Imprimerie nationale; 1794

11 政治的かつ営利的収益の下で検討され、公的救済委員会によって示された慈善、労働、矯正に関わる公的施設についての建白書

Mémoire sur les établissemens publics de bienfaisance, de travail et de correction, considérés sous les rapports politiques & commerciaux, présenté au comité des secours publics de la Convention national, le 28 brumaire, l'an 2 de la République une & indivisible / par Jacques Dillon, citoyen français, artiste hydraulicien & mécanicien, imprimé en vertu d'une décret de la Convention nationale, sur le rapport du même comité.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

12 貧窮者に対する支払金についての準備報告、ピュイ-ド-ドーム県の議員である市民メニエによるもの

Rapport préparatoire sur l'organisation des caisses d'économie, créées en faveur de l'indigent, présenté au nom du comité des secours publics, par le citoyen Maignet, député du Puy-de-Dôme.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

13 季節の変調、火災およびその他の不測の災害によって引き起こされた損害の被害額の推算に関して注意すべき姿勢についての報告と政令草案

Rapport et projet de décret sur les formes à observer pour l'évaluation des pertes occasionnées par l'intempérie des saisons, incendies & autres accidens imprévus, & sur les règles à établir pour la répartition des secours accordés aux personnes qui ont éprouvé ces pertes, présentés au nom du comité des secours publics / par le citoyen Maignet, député du département du Puy-de-Dôme.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

14 子供と老人を含む人々の救済の組織についての報告と計画、公的救済委員会の名において、ピュイ=ド=ドーム県議員メニエによるもの

Rapport et projet de décret sur l'organisation des secours à accorder annuellement aux enfans et aux vieillards, présentés au nom du comité des secours publics par le citoyen Maignet, du département du Puy-de-Dôme.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

15 県境が戦争によってもたらされた損害額の推算において注意すべき手続きに関する報告と政令草案

Rapport et projet de décret sur les formalités à observer pour l'évaluation des pertes que les départemens-frontières ont éprouvées à raison de la guerre, et sur les indemnités qui leur seront dues, présentés au nom des comités des finances et des secours, reunis / par le citoyen Maignet, député du département du Puy-de-Dôme.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

16 国民公会における、アリエージュ県選出議員で同志のヴァディエによって、公的救済委員会に示された報告と政令草案

Rapport et projet de décret présentés au nom du comité des secours publics, par le citoyen Vadier, député du département de l'Arriège, à la Convention nationale, sur l'administration & distribution des revenus des pauvres des quarante-huit sections de Paris.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

17 国民公会での報告、啞者のための施設を運営するための内容、公的救済委員会のメンバー出席の議会において、メニエによるもの、啞者について

Compte rendu à la Convention nationale, de ce qui s'est passé à l'établissement des sourds-muets, dans la séance tenue en présence des membres du comité des secours publics : présenté au nom de ce comité, pour servir de suite au rapport de Maignet, sur les sourds-muets.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

18 「乞食」の減少についての報告と政令の計画、ジャン=バティスト=ボによって、公的救済委員会の名において、国民公会において発表される

Rapport et projet de décret sur l'extinction de la mendicité, présentés à la Convention

nationale, au nom du comité des secours publics, par Jean-Baptiste Bo, député du département de l'Aveyron.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

19 政令の報告と計画、啞者のための施設の組織、公的救済委員会の名において、ピュイ-ド-ドーム県議員メニエによって、6月28日に政令化

Rapport et projet de décret, sur l'organisation des établissemens pour les sourds-muets indigens, décrétés le 28 juin dernier / par Maignet, député du département du Puy-de-Dôme, au nom du comité des secours publics.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

20 公的救済委員会の名において発表された計画と政令/ピュイ-ド-ドーム県議員M. メニエによるもの

Projet de décret présenté, au nom du comité des secours publics / par M. Maignet, député du département du Puy de Dôme.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

21 いくつかの県におけ火災に対する補償金についての報告と政令計画、コレーゼ県議員M. ゲルミニャックによるもの

Rapport et projet de décret sur les indemnités à accorder aux Incendiés de plusieurs départemens, présentés, au nom du comité des Secours publics, par M. Germignac, député du département de la Corrèze.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

22 サン-ソヴールの住人に対する12,000リーブルという金額に関する政令計画、暫定的な救済の名目で、公的救済委員会による報告

Projet de décret relatif à une somme de 12,000 liv., à accorder aux habitans de St-Sauveur, à titre de secours provisoires, présenté par le comité des secours publics.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

23 諸県の貧民に対する救済についての政令の報告と計画、経済通常委員会と公的救済委員会の名において、ゲル県議員T. タルタナックによるもの：1792年5月9日の審議、3月12日月曜日に延期

Rapport et projet de décret sur les secours à accorder aux citoyens indigens des départemens : faits et présentés, au nom des comités de l'ordinaire des finances et des secours publics / par T. [sic] Tartanac, député du département du Gers : séance du 9 mars 1792, ajourné au lundi 12 mars.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

24 ラオン-レタブ、ジョルジュ-リュそしてバラックにおけるいくつかの火災に対する報告と政令計画/公的救済委員会の名において、セーヌエオワズ県議員M. テノンによるもの、1792年3月20日

Rapport et projet de décret, concernant les secours à accorder à divers incendiés de Raon-

l'Etape, de George-lieu & de Bellac / présentés au nom du comité des secours publics, par M. Tenon, député du département de Seine et Oise, le 20 mars 1792.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

25 国民議会において発表された報告と政令計画、公的救済委員会の名において、1792年に病院に与える暫定的救済について、アヴェロン県議員ジャン=バティスト=ボによるもの

Rapport et projet de décret, présentés a l'Assemblée nationale, au nom du comité des secours publics, sur les secours provisoires à accorder aux hôpitaux pour 1792, par Jean-Baptiste Bo, député du département de l'Aveiron.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

26 国民公会 :ワインへの異物混入を防ぐ方法についての計画と政令、公的救済委員会の名において、シャルル=ニコラ=ボヴェによるもの

Convention nationale : projet de décret sur les moyens d'empêcher la falsification des vins, présenté au nom du comité des secours publics, par Charles-Nicolas Beauvais-- De l'Imprimerie nationale; 1792

27 公的救済委員会の政令計画に追加する項目と報告、この施設の全般的な組織について/ヨンヌ県議員P. ベルナルによるもの

Rapport et articles additionnels au projet de décret du comité des secours publics, sur l'organisation générale de cet établissement / par P. Bernard, député du département de l'Yonne.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

28 報告と政計画、諸県に対する支援について公的救済委員会の名において、オート=ソーヌ県議員C. F. ブルノ=シプロによるもの

Rapport et projet de décret, sur la distribution des secours aux départements, présentés au nom du comité des secours publics, par C.F. Bruno Siblot, député du département de la Haute-Saône.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

29 報告と政令計画、公的救済委員会の名において、季節の変調のために損失を被った貧しい市民を対象に含む救済の振り分けの方法について

Rapport et projet de décret, fait et présenté au nom du comité des secours publics, sur le mode de répartition des secours à accorder aux citoyens indigens qui ont essuyé des pertes par l'intempérie des saisons, par Élie La Coste-- De l'Imprimerie nationale; 1792

30 必要なものを持っていない志願兵の父母、妻、子供たちのための救済についての政令報告と計画：公共救済委員会の名において/ピュイ=ド=ドーム県議員市民メニエによるもの

Rapport et projet de décret sur les secours à accorder aux pères, mères, femmes & enfants des citoyens-soldats volontaires qui sont dans le besoin : présentés au nom du comité des secours publics / par le citoyen Maignet, député du département du Puy-de-Dôme.-- De l'Imprimerie

nationale; 1792

31 公共救済の全般的な組織および乞食をなくすことについての報告、ヨンヌ県議員ベルナル=デリによる1792年6月13日の報告

Rapport sur l'organisation générale des secours publics, et sur la destruction de la mendicité, présenté à l'Assemblée nationale, au nom du comité des secours publics, par M. Bernard d'Airy, député du département de l'Yonne, le 13 juin 1792, l'an quatrième de la liberté.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

32 財務委員会と公共救済委員会の名における報告、特に極めて救済を求めている諸県の要請により、援助するための暫定的に雇用する方法

Rapport fait au nom des comités des finances, et des secours publics, sur les moyens provisoires à employer pour subvenir aux besoins des départements, qui, par des cas particuliers & extraordinaires, peuvent exiger des secours / par M. Deperet, député du département de la Haute-Vienne.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

33 キャンズ-ヴァン病院の盲目の人たちのための所見、この病院を廃院とすることについての国民公会の救済委員会の政令計画

Observations pour les aveugles de l'hôpital des Quinze-Vingts, sur le projet de décret du comité de secours de la Convention nationale, pour la suppression de cet hôpital.-- De l'imprimerie de J. Grand, rue du Foin-S.-Jacques ...; 1792

34 火事の被害にあった人々のための救済に関する政令計画、公共救済委員会の名において、セーヌ-エ-オワズ県議員M. トゥノンによるもの、1792年3月20日

Projet de décret concernant les secours à accorder à divers incendiés, présenté, au nom du comité des secours publics, par M. Tenon, député du département de Seine et Oise, le 20 mars 1792.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

35 公共救済委員会の名においてなされた政令計画と報告、市民マリ-テレーズ=パカリーニ（マリ-ウスタシュ=ジュシュロの未亡人で、彼は砲兵隊の中佐および兵器工場の視察官でシャルルヴィルの指揮官であったが、1792年9月4日に治安妨害の中虐殺される）の陳情についてのC. N. ボヴェの報告

Rapport et projet de décret fait au comité des secours publics, sur la pétition de la citoyenne Marie-Thérèse Pasqualini, veuve de Marie-Eustache Juchereau, lieutenant-colonel d'artillerie, inspecteur de la manufacture d'armes & commandant de la place de Charleville, massacré le 4 septembre 1792, l'an premier de la République, dans une sédition, par le citoyen C.N. Beauvais ... imprimé par ordre du comité, conformément du décret du 28 mai 1792.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

36 未亡人や1792年8月10日の事件で負傷または殺害された市民たちのの父母、子供たちのための補償と補償金についての報告、1792年12月25日、公共救済委員会の名において述べられた、パリの議員であるC. N. ボヴェの報告

Rapport sur les récompenses & indemnités à accorder aux veuves, pères, mères & enfans des citoyens tués, & aux blessés dans la journée du 10 août 1792 : lu au nom du Comité des secours publics, le 25 décembre 1792 ... / par C.N. Beauvais ; député du département de Paris.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

37 政令計画、公共救済委員会の名におけるジェ県議員J. タルタナックの報告、ペレ氏の陳情について、彼は1787.1788、1789、1790、1791年の間、バステューユやシャラントンに拘留された

Projet de décrets, présentés au nom du comité des secours publics, par J. Tartanac, député du département du Gers : sur la pétition du sieur Perret, détenu à la Bastille ou à Charenton, pendant les années 1787, 1788, 1789, 1790 et 1791.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

38 立法議会の公的救済委員会の成果の報告、国民公会において、パリ議員C. N. ボヴェの報告

Rapport, ou, Exposé des travaux du comité des secours publics de l'Assemblée législative, par C.N. Beauvais, député du département de Paris à la Convention nationale, imprimé par ordre du comité.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

39 国民議会の報告、公的救済委員会の名において、野蛮人の侵入により、自由を奪われた全フランス人の償いと同様にすべての外国人への償い、彼らは一人のフランス人として奉仕し、国家の建造のために働いた。そして自由を奪われたのである、1792年5月4日金曜日、J.B. ジャモンによる報告

Rapport à l'Assemblée nationale, au nom du comité des secours publics, tant sur le rachat de tous les françois captifs chez les puissances barbaresques, que sur celui de tout étranger qui, étant au service d'un françois, ou employé sur des bâtimens de la nation, seroit tombé en captivité / par J.B. Jamon ... le 5 mars 1792-- De l'Imprimerie nationale; 1792

40 投票の結果、当選または在任した公的救済委員会のメンバーのリスト、1792年5月4日金曜日

Liste des membres du comité des secours publics, sortants et restants par l'effet du scrutin : du vendredi 4 mai 1792, l'an 4eme de la liberté.-- [s.n.]; 1792

41 公教育委員会と救済委員会の名における報告、集会、公教育委員会のメンバーでイゼール県議員J.B. ギリュによるもの、ジャン=ジロとその父、セザール=オガルドの母、ヴァル県のヴァアラジュのコミューンの市民たちに与える報酬について、1792年8月18日

Rapport fait au nom des comités de l'instruction publique et des secours, réunis, par J.B. Guilloud, député du département de l'Isère, membre du comité de l'instruction publique, sur la

récompense à décerner à Jean Giraud, & aux père & mère de César Augarde, citoyens de la commune de Varages, département du Var, le 18 août 1792, l'an 4e. de la liberté : le décret a été adopté à l'unanimité, à la première lecture.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

42 報告と政令と問題の解消のための計画、サン神父の陳情について、公的救済委員会の名において、コレゼ県議員M. ジェルミニヤックによる報告

Rapport et projet de décret, sur une pétition de M. l'abbé Sans, présentés au nom des comités des secours publics, et de liquidation, réunis, par M. Germignac, député du département de la Corrèze.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

43 ジャコブ=デュポン氏による公的救済委員会名における政令計画

Projet de décret fait au nom du comité des secours publics / par M. Jacob Dupont.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

44 キャンズ-ヴァン病院の設立と運営についての政令計画、公的救済委員会の名において、アルデシュ県議員市民サン-マルタンによるもの

Projet de décret sur l'administration et l'établissement de l'hôpital des Quinze-Vingts, présenté au nom du comité des secours publics, par le citoyen Saint-Martin, député du département de l'Ardèche.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

45 国民議会でなされた政令計画、公的救済委員会の名において、レーグルの町の棧木の仲買業者と製造業者の要求について

Projet de décret présenté à l'Assemblée nationale, au nom du comité des secours publics, sur la demande des négocians & fabricans d'épingles de la ville de L'Aigle, en faveur de leurs ouvriers dénués de travail / par M. S.P.A. Terrède, député du département de l'Orne.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

46 公的救済委員会によって提案された政令計画、パリ市長によってなされた要求に関して、9月15日の政令措置によって家長へと広げられた乳母の月給が支払われないという不自然な状態について

Projet de décret proposé par le comité des secours publics, relativement à la demande faite par le maire de Paris, d'étendre les dispositions du décret du 15 septembre dernier aux pères de famille en état de contrainte pour non-paiement de mois de nourrice.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

47 政令計画、国民公会で報告、公的救済委員会の名において、ダンケルクの仲買業者ショル氏について、オート-ソーヌ県議員であるシプロ氏によるもの

Projet de décret, présenté à l'Assemblée nationale, au nom du comité des secours publics,

concernant le sieur Schoel, négociant à Dunkerque, par M. Siblot, député du département de la Haute-Saone : le 30 mars 1792.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

48 国民議会で報告された政令計画、公的救済委員会の名において、サルト県議員L.C.D. ロジュによるもの、貧困生活者を支援するためにアンジェへ100,000リーヴルの貸与を進める必要性について

Projet de décret présenté à l'Assemblée nationale, au nom du comité des secours publics, par L.C.D. Rojou, député du département de la Sarthe, sur la nécessité d'avancer, à titre de prêt, à la municipalité d'Angers, la somme de 100,000 livres, pour procurer des moyens de subsistance à ses pauvres.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

49 国民議会で報告された政令計画、公的救済委員会の名において、ピュイ-ド-ドーム県議員エチエンヌ=メニエによる

Projets de décrets, présentés à l'Assemblée nationale, au nom du comité des secours publics / par Etienne Maignet, député du département du Puy-de-Dôme.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

50 物乞い員会の5回目の報告：公的救済のための資金の見積もり

Cinquième rapport du Comité de mendicité : estimation des fonds à accorder au Département des secours publics.-- De l'Imprimerie nationale; 1790

51 損害補償金の支払いのための資金の分配についての計画

Projet de répartition du fonds qui sera accordé pour le payement des indemnités des pertes ...

52 公的救済委員会についての書類

[Pièces concernant le comité des secours publics] / Zangiacomi ...

53 暫定的に認められた600万もの補償金の分配

Répartition de la somme de six millions, relative aux indemnités qui doivent être accordées provisoirement ...

54 キャンズ-ヴァン病院への簡潔な所見、委員会の計画について

Observations sommaires pour l'hôpital des Quinze-Vingts, sur le projet du comité.-- De l'imprimerie de J. Grand, rue du Foin-Saint-Jacques ...

55 報告と政令計画、パリとボルドーに建てられた耳が聴こえず、啞者である人々のための2つの建造物の最終的な組織について、国民公会にて、公教育、財務、公的救済の3つの委員会の名において、カルヴァドス議員であるジュアンヌによるもの

Rapport et projet de décret, sur l'organisation définitive des deux établissements fondés à

Paris & à Bordeaux pour les sourds & muets : présentés à la Convention nationale au nom des trois comités, d'instruction publique, des finances & des secours publics, par Jouenne, député du Calvados.-- De l'Imprimerie nationale

56 報告と政令計画、公的救済の全般的な組織の土台について、国民公会にて、公的救済委員会の名における、ジャン-バティスト=ボによるもの

Rapport et projet de décret sur les bases de l'organisation générale des secours publics, présentés à la Convention nationale, au nom du comité des secours publics, par Jean-Baptiste Bo-- De l'Imprimerie nationale

57 公的救済と財務委員会に宛てられたメシドール23日の法についての報告、国民公会の演壇にて説かれたもの、共和暦3年テルミドール10日、ソンヌ県議員ドルクロワによるもの

Rapport sur la loi du 23 messidor, prononcé à la tribune de la Convention nationale, le 10 thermidor an troisième de la République française / par Delecloy, député de la Somme ; renvoyé aux comités des secours publics et des finances.-- De l'Imprimerie nationale

58 報告と政令計画そして盲人のための国立学士院の請願、パリに建てられた目が見えずに働いている人々のための建造物の最終的な構成について、国民公会にて発表、財務、公教育、公的救済の3つの委員会の名において、共和暦3年プレリアル25日、アンの議員メルリノもよるもの

Rapport et projet de décret sur l'organisation définitive de l'établissement fondé à Paris pour les aveugles travailleurs, présentés à la Convention nationale, au nom des trois comités des finances, d'instruction publique & des secours publics, le 25 pariarial, an troisième, par Merlino, député de l'Ain : et ajournés jusqu'après sa distribution, précédés de la pétition de l'Institut national des aveugles travailleurs.-- De l'Imprimerie nationale

59 国民公会：市民サンによる医療用電気を発見したことについての政令計画、国民公会にて発表、公的救済委員会の名において、アヴェロン県議員J. B. ボによるもの

Convention nationale : projet de décret, sur la découverte de l'électricité médicale, par le citoyen Sans, présenté à la Convention nationale, au nom du comité des secours publics, par J.B. Bo, député du département de l'Aveiron.-- De l'Imprimerie nationale

60 政令計画、国民議会にて、公的救済委員会の名において、ヨンヌ県議員P. ベルナルによるもの、：22日の夜の審議に延期

Projet de décret présenté à l'Assemblée nationale, au nom du Comité des secours publics / par P. Bernard, député du département de l'Yonne : ajourné à la séance du 22 au soir.-- De l'Imprimerie nationale

報告(3) 「ベル文に近代経営論の足跡を見出して」

李 東 勲 (石巻専修大学系経営学部)

フランス革命期における営業活動に関する規定が大きく変わるの、「ギルドの廃止」以降であったといわれる。それまでは営業の自由、職業活動の自由についての規定が示されることはあったが、法規として成立することはなかった。それが本格化するのが「アラルド法」と「ル-シャプリエ法」においてであった。フランス革命はその初期段階から経済面では自由主義的政策を前提にしていたが、市場経済の拡大による経済活動の可能性は高まったものの自由な営業活動そのものを支える法令は存在しなかった。また、度量衡の統一などの合理的な経営に必要な国民経済の成立条件もその後徐々に確立するようになる。

李報告は、アンシャン-レジーム末期の「テュルゴ勅令」から検討し、経済面での自由主義的動きの前史から検討を始めた。一例として、ルイ=フィリップ(オルレアン公爵)による1784年の木造回廊パレ-ロワイヤルの開放にも経済自由主義の思想が反映されているという。最終的には、1791年の「ル-シャプリエ法」が営業の自由の道を拓くことになった。

その結果、パリを中心に街区から街区に通じるアーケード商店街・パサージュが出現するなど新しい小売業が登場しているという。こうした絶対王政期には存在しなかった商慣習が、19世紀には繊維産業部門中心に始まった産業革命の進展の中で、①定価価格、②店内への自由な出入り、③返品制度、④売上高に応じた歩合制の導入などの経営方式を導入したボン-マルシェのような百貨店を生み出すと説いた。

「ベル文」には、近代経営論の視点から見て決定的な転換点となった1791年の「ギルドの廃止」の動きを正確に捉えるに十分な史料が揃っているのも、それらの多面的な研究に資すること大であると見た。

Loi d'Allarde

1 税金および土地、動産についてのアラルドの意見

Opinion de M. d'Allarde sur les impôts, & sur la répartition de la contribution foncière & mobilière.- De l'Imprimerie nationale; 1791

2 被選挙資格と選挙資格についてのニエーヴル県議員アラルドの意見

Opinion de M. d'Allarde, député du département de la Nièvre, sur l'éligibilité à l'électorat.- De l'imprimerie de Du Pont, député de Nemours à l'Assemblée nationale ...; 1791

3 国税委員会の名の下に行われた報告

Rapport fait au nom du comité des contributions publiques, sur le taux de la retenue que les débiteurs de rentes ou autres prestations seront autorisés à faire à raison de la contribution

foncière, en acquittant ces rentes ou prestations.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

4 5リーヴルのアシニャの製造についてのアラルドの意見

Opinion de M. d' Allarde, sur la fabrication des assignats de 5 livres.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

5 国民議会のメンバーが再度選挙に参加することが可能かについてのアラルドの意見

Opinion de M. d'Allarde, sur la rééligibilité [i.e. rééligibilité] des membres de l'Assemblée nationale.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

6 国税委員会の名の下に行われた報告

Rapport fait au nom du comité des contributions publiques, sur la cotisation à la contribution foncière bois-futaies ou destinés à le devenir, et des tourbières.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

7 聖職者の総収入役によってなされるべき会計に関して、財務委員会の名の下にアラルドによってなされた報告

Rapport fait au nom du comité des finances, sur les comptes à rendre par le receveur-général du clergé / par M. d'Allarde.-- De l'Imprimerie nationale; 1790

8 国家の借入金についての、ジェノヴァの委任状に基づいてヴィム氏によってなされた提案に関するアラルドの報告

Rapport par M. d'Allarde, sur la proposition faite par le sieur de Vismes, fondé de la procuration des Génois, de prêter à la nation soixante-dix millions, tant en espèces qu'intérêts échus & créances exigibles, remboursables en annuités de dix années, à compter de 1793.-- De l'imprimerie de L. Potier de Lille, rue Favart ...; 1790

9 ダラルド男爵による現金割引についての報告、財務委員会の名において

Rapport sur la Caisse d'escompte, fait au nom du comité des finances, par M. le baron d'Allarde.-- Chez Baudouin, imprimeur de l'Assemblée nationale ...; 1790

10 20億アシニャ紙幣の増刷計画についてのダラルドの報告

Opinion de M. d'Allarde, sur le projet de créer 2 milliards d'assignats-monnoie.-- De l'imprimerie de L. Potier de Lille, rue Favart ...; 1790

11 国家財務の復興について、または国家財務についての諸計画における様々な考察についての報告

Idées sur la restauration des finances de l'État, ou, Mémoire dans lequel on examine plusieurs projets sur les finances de l'Etat, et qui expose un plan simple, pour assurer leur restauration.--

De l'imprimerie de Monsieur; 1789

12 ダラルド男爵の動議の理由と概要、財務の新しい体制について

Motifs et précis de la motion de M. le baron d'Allarde, sur un nouveau régime des finances.--
Chez Baudouin, imprimeur de l'Assemblée nationale ...; 1789

13 サン=ピエール=ル=ムチエの議員であるダラルド男爵による財務の新体制についての動議

Motion sur un nouveau régime de finances, par M. le baron d'Allarde, député de Saint-Pierre-le-
Moutier.-- Chez Baudouin, imprimeur de l'Assemblée nationale ...; 1789

14 証拠書類：市民の税金の全般的な状況と公共のものとなった明瞭な生産物の状況

Pieces justificatives : état général de la contribution des peuples et du produit net des revenus
publics.-- [s.n.]; 1789

15 ニエール県議員ダラルドによる公共税委員会の名における報告と金属と銀の売却と製造に
関する政令計画についての報告

Rapport au nom des comités des contributions publiques, et projet de décret sur la vente et
fabrication des matières d'or et d'argent / par M. d'Allarde, député du département de Nièvre.--
De l'Imprimerie national

Le Chapelier

1 ナントで交付された通行証、共和暦12年ジェルミナル20日、ナントからパリへ向かうために
警視によってジャン=モラレ、シャプリエに与えられたもの

[Passeport délivré à Nantes, le 20 germinal an 12, par le commissaire général de police, à Jean
Moraret, chapelier, pour se rendre de Nantes à Paris]; 1804

2 パリ、共和暦3年、フリユクチドール2日... : ムーランのラ=ピュット地区の市民委員、その
地区に居住していたダミアン=コレ=シャプリエについて

Paris, le deux fructidor an trois de la République française ... : le comité civil de la section de la
Butte des Moulins, reconnait et certifié que le cit. Damien Coslet Chapelier demeurant sur de la
section ...; 1795

3 ジャリ代表によるプレスト、シェルブールおよび西部地方の軍隊についての作戦、ナントに
おいて：パリ、共和暦3年プレリアル28日

Au représentant Jary, en mission près l'armée des côtes de Brest et de Cherbourg, et de
l'Quest, à Nantes : Paris le 28. prairial, an 3e. ... / Marec, Defermon; 1795

4 フランス人民の名において、レンヌにて、共和暦3年ジェルミナル20日西部、ブレスト近郊、シェルブール近郊の軍隊についての民衆代表について、それらの区がある諸県において

Au nom du peuple français : à Rennes, le 20 germinal, l'an 3 de la République française une & indivisible : les représentans du peuple près les armées de l'Ouest, des côtes de Brest et de Cherbourg, et dans les départemens de leurs arrondissemens, aux administrateurs du district d[...].-- Chez J. Robiquet, imprimeur des représentans du peuple ...; 1795

5 G.F. スピールによってなされた報告、立法院における農業委員会、商業委員会による布告、国民公会において市民フェルモンが発表、1792年9月30日、共和暦1年

Rapport fait par G.F. Sebire, et arrêté au Comité d'agriculture et commerce du Corps législatif, présenté à la Convention nationale, par le citoyen Fermon, le 30 septembre 1792, l'an 1er. de la République française, et dont la réimpression et la distribution ont été ordonnées par la Convention.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

6 M.デプレメニルの意見、1791年2月25日の朝の議会において通過した事案についての話題、シャプリエによって発表された法案をきっかけとして

Opinion de M. d'Épréménil, entre-mêlée du récit des faits qui se sont passés à la séance du matin, le 25 février 1791, à l'occasion du projet de loi présenté par M. le Chapelier, au nom du Comité de Constitution, sur la résidence des fonctionnaires publics.-- [s.n.]; 1791

7 ル-シャプリエによる報告、憲法委員会の名において、劇的な発案者たちによる陳情者について、この議会で出された政令

Rapport fait par M. Le Chapelier, au nom de comité de constitution, sur la pétition des auteurs dramatiques, dans la séance du jeudi 13 janvier 1791, avec le décret rendu dans cette séance.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

8 ル-シャプリエによる民衆協会についての報告、旧憲法委員会の名において、

Rapport sur les sociétés populaires, fait au nom de l'ancien comité de constitution / par M. le Chapelier.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

9 年金あるいはその他の給金の支払い義務者の天引き割合についての、公的課税委員会の名の下になされた報告

Rapport fait au nom du comité des contributions publiques, sur le taux de la retenue que les débiteurs de rentes ou autres prestations seront autorisés à faire à raison de la contribution foncière, en acquittant ces rentes ou prestations.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

10 国民議会で行われた報告、課税委員会の名において1790年12月3日、財務局による課税の申し出について

Rapport fait à l'Assemblée nationale, au nom du comité de l'imposition, le 3 décembre 1790, sur la proposition d'imposer les rentes dues par le Trésor public.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

11 公共税についての委員会の名においてなされた報告、17県が含まれる減税について

Rapport fait au nom du comité des contributions publiques, sur un dégrèvement à accorder à dix-sept départements.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

12 M. デプレメニルの意見、1791年2月25日の朝の議会において通過した事案についての話題、シャプリエによって発表された法案をきっかけとして

Opinion de M. d'Eprémesnil, entre-mêlée du récit des faits qui se sont passés à la séance du matin, le 25 février 1791, à l'occasion du projet de loi présenté par M. le Chapelier, au nom du Comité de constitution, sur la résidence des fonctionnaires publics.-- [s.n.]; 1791

13 デフェルモン の意見、海軍の組織について、1791年4月13日の議会において宣告された

Opinion de M. Defermon, sur l'organisation de la Marine, prononcée dans la séance du 13 avril 1791.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

14 ル-シャプリエによる法案の計画と公務員の住居についての報告、憲法委員会の名において

Projet de loi et rapport sur la résidence des fonctionnaires publics, fait au nom du Comité de Constitution, par M. Le Chapelier.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

15 公的課税委員会の名において、樹木の地代や泥炭地のそれについてなされた報告

Rapport fait au nom du comité des contributions publiques, sur la cotisation à la contribution foncière bois-futaies ou destinés à le devenir, et des tourbières.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

16 公共の人々の図書館またはフランス語や外国語で書かれた書物に関する分析、全般的な政治、法律、経済、警察、農業、そしてとくに商業について

Bibliothèque de l'homme public, ou, Analyse raisonnée des principaux ouvrages français et étrangers, sur la politique en général, la législation, les finances, la police, l'agriculture, & le commerce en particulier, & sur le droit naturel & public.-- Chez Buisson, libraire, hôtel de Coetlosquet- [1790], T. 1er ([1790]) -

17 MM議員の権限についての憲法委員会の報告、国民議会においてこの委員会のメンバーであるル-シャプリエによる発表

Rapport du Comité de constitution, sur la prolongation des pouvoirs de MM. les députés / présenté à l'Assemblée nationale par M. Le Chapelier, membre de ce Comité, & imprimé par son ordre.-- Chez Baudouin, imprimeur de l'Assemblée nationale ...; 1790

18 ミラボー子爵の意見、オートリムーザンの議員そしてレンヌの議員であるル-シャプリエの演説、ブルターニュの休任期特別心理部の監督について

Opinion de M. le vicomte de Mirabeau, député du Haut-Limousin, et discours de M. Le Chapelier, député de Rennes, sur la conduite de la chambre des vacations de Bretagne.-- De l'Imprimerie nationale; 1790

19 ミラボー、シャプリエ、クレルモン-トヌル氏の異議

Protestation de messieurs de Mirabeau, Chapelier, Clermont-Tonnere, &c.-- [s.n.]; 1790

20 パリのコミューンの市長の演説、国民議会において、また国王の面前で、そして議長の返答
Discours du maire de la Commune de Paris, à l'Assemblée nationale & au roi, et la réponse du président de l'assemblée & celle du roi : confédération nationale.-- De l'imprimerie de F. Brebion, imprimeur du roi & de la ville; 1790

21 ブルターニュでの事件に関する詳細、レンヌの議員であるフェルモン氏による1790年1月10日月曜日、国民議会において

Détails relatifs à l'affaire de Bretagne, donnés par M. de Fermon, député de la ville de Rennes, dans la séance de l'Assemblée nationale, du lundi 10 janvier 1790.-- Chez Baudouin, imprimeur de l'Assemblée Nationale, rue du Foin-Saint-Jacques ...; 1790

22 私的で政治的な人生、王イザク=シャプリエ1世、彼は1789年にフランスの王たちの指導者であった、ルイ16世はフランス人民の国王であった

Vie privée et politique, du roi Isaac Chapelier, premier du nom, et chef des rois de France de la quatrième race, en 1789, Louis XVI étant roi des François : précédée d'une introduction, et ornée du portrait de Sa Majesté.-- Chez l'auteur, historiographe de S.M., et chez tous les libraires de province; 1790

23 帽子屋：ル-シャプリエに捧げる小冊子

Chapeaux à vendre : opusculé dédiée à M. Le Chapelier.-- De l'imprimerie des gens sans tête à l'Assemblée nationale; 1790

24 憲法と法律、国民議会の議員ル-シャプリエ、国王の弁護士で国王親任官であるデュヴェリエ、パリのコミューンの元代表であるペリニオン、弁護士であるガルニエによって書かれた作品

De la Constitution et des lois, ouvrage redigé par MM. le Chapelier, député à l'Assemblée nationale, Duveyrier, avocat et commissaire du roi, près l'un des tribunaux de Paris, Perignon, avocat et ancien représentant de la Commune de Paris, et Garnier, avocat : prospectus.-- [s.n.]; 1790

- 25 平和と戦争についての法に関するル-シャプリエの意見
Opinion de M. Le Chapelier, sur le droit de faire la paix et la guerre.-- De l'Imprimerie nationale; 1790
- 26 ミラボー、ラムス、バルナーヴ、シャプリエに宛てたカルトゥーシュの手紙
Lettre de Cartouche à ses représentans Mirabeau, Lameth, Barnave, Chapelier, &c.-- De l'imprimerie du comité des recherches; 1790
- 27 国王の代表による演説：1789年8月13日
Discours de M. le président au roi : du 13 août 1789.-- Chez Baudouin, imprimeur de l'Assemblée nationale ...; 1789
- 28 調書のまとめ：1789年8月13日
Extrait du procès-verbal : du 13 août 1789.-- [s.n.]; 1789
- 29 国民議会の調書のまとめ：報告書、政令、判決などに関する項目、1789年8月4,6,7,8,11日における審議において
Extrait du procès-verbal de l'Assemblée nationale : articles arrêtés , rédigés & décrétés dans les séances des 4, 6, 7, 8 & 11 août 1789.-- Chez Baudouin, imprimeur de l'Assemblée nationale ...; 1789
- 30 国民議会の貴重であるル-シャプリエの演説
Discours de M. Le Chapelier, président de l'Assemblée nationale, au roi.-- Chez Baudouin, imprimeur de l'Assemblée nationale ...; 1789
- 31 国王の返答
Réponse du roi.-- Chez Baudouin, imprimeur de l'Assemblée nationale ...; 1789
- 32 国民議会の調書のまとめ：報告書、政令、判決などに関する項目、1789年8月4,6,7,8,11日における審議において
Extrait du procès-verbal de l'Assemblée nationale : articles arrêtés, rédigés & décrétés dans les séances des 4, 6, 7, 8 & 11 août 1789.-- De l'Imprimerie royale; 1789
- 33 国民議会議長のルシャプリエ殿への国王からの短信
Billet de la main du roi, à M. le Chapelier, président de l'Assemblée nationale.-- [s.n.]; 1789
- 34 モンモラン伯爵から国民議会議長ル-シャプリエへの手紙
Lettre de M. le comte de Montmorin à M. le Chapelier, président de l'Assemblée nationale :

Versailles, le 4 août 1789.-- Chez Baudouin, imprimeur de l'Assemblée nationale ...; 1789

35 国民議会の判決：1789年7月13日

Arrêté de l'Assemblée nationale : du 13 juillet 1789.-- Chez Baudouin, imprimeur de l'Assemblée nationale ...; 1789

36 デュフェルモンによる報告、共和暦5年プリュビオーズ13日の審議

Rapport fait par Defermon, au nom de la commission spéciale chargée de l'examen du message du Directoire exécutif, du 3 frimaire dernier : séance du 13 pluviôse an V.-- De l'Imprimerie nationale

37 デフェルモンによる財務委員会の名における報告：共和暦5年ヴァンデミエール9日の審議

Rapport fait au nom de la commission des finances, par Defermon : séance du 9 vendémiaire an 5.-- De l'Imprimerie nationale

38 デフェルモンによる報告、財務委員会および特別委員会の名において：西部の諸県による滞納税負担の軽減に対する要求、共和暦5年ニヴォーズ22日の審議

Rapport fait par Defermon, au nom de la commission des finances et d'une commission spéciale : sur les réclamations faites par les départemens de l'Ouest en décharge des contributions arriérées : séance du 22 nivôse an V.-- De l'Imprimerie nationale

39 公安委員会の名においてデフェルモンによってなされた報告、グアドループとイルデュヴァン周辺についての報告

Rapport fait, au nom du Comité de salut public, sur la Guadeloupe & autres îles du Vent, par Defermond.-- De l'Imprimerie nationale

40 私が本物のパールデュシェーヌだ...非常に愛国的なパールデュシェーヌから国民議会で宛てられたもの

Je suis le véritable pere Duchêne moi, foutre ... adresse bougrement patriotique du pere Duchêne à l'Assemblée nationale pour l'inviter à déerèter la motion de M. Chapelier, qui oblige tous les fonctionnaires publics à rester en France : les cy-devant princes actuellement fugitifs à y rentrer & qui prive de la couronne l'héritier présomptif s'il sort du royaume.-- De l'imprimerie du pere Duchêne, rue du Vieux Colombier

41 捜索委員会において発見された者たちの文書

Porte-feuille trouvé au comité des recherches : imprimé & publié par une société de bons Français.-- [s.n.]

42 サン-ドマング植民地についての人民の代表であるデフェルモンによる報告、公安委員会の名において、共和暦3年メシドール25日の審議

Rapport sur la colonie de Saint-Domingue, fait au nom du Comité de salut public, dans la séance du 25 messidor, an 3, par Defermon, représentant du peuple.-- De l'Imprimerie nationale

43 デフェルモンの意見、財務委員によって行われた報告について、ジェルミナル8日の審議

Opinion de Defermon sur les rapports faits par la commission des finances : séance du 8 germinal.-- De l'Imprimerie nationale

44 これらの男性についてのダイアログ

Dialogues de ces messieurs.-- [s.n.]

45 財務委員会の名において、デフェルモンによる報告、共和暦5年ヴァンデミエール7日の審議

Rapport fait, au nom de la commission des finances, par Defermon : séance du 7 vendémiaire l'an V.-- De l'Imprimerie nationale

46 国民議会の非常に重要な政令

Décret très-important de l'Assemblée nationale.-- [s.n.]

報告(4) 「ベル文に近代教育の歩みを求めて」

矢 吹 芳 洋 (専修大学経済学部)

フランス革命以前の教育は、カトリック教会の教区組織が担っていた。王国全体に組織された教区ごとに「小さな学校」が設置され、そこでは初歩的な読み書き計算の他に、祈りや聖歌、教理問答、聖人伝などの宗教教育が行われていた。革命に突入するとカトリック的な教育規範の代替となりうる「無償」「非宗教」「義務化」などを柱とする共和主義的な教育システムの確立が急がれたが、予算的措置や人口密度、さらには地域的伝統などの問題に直面し、実際にはそう簡単にはいかなかった。一般には、それらの教育論が「知育中心」か「徳育中心」かで分けて捉える傾向があるが、ことはそれほど単純ではなかった。

矢吹報告では、「ベル文」史料分析に不可欠な、フランス革命期に確認できるすべての「公教育」計画案とその実施状況についての研究成果が分析土俵として提示された。「憲法と教育関連規定」、「思想史上の分類」、「公教育に対する基本的な考え方およびその特徴」、「教育の目的」、「学校制度」、「教育の平等（男女共学・義務制・無償性）」、「教育の中立性（政教分離・教育の自由・私立学校開設）」、「教育内容（憲法学習・教育内容の統制・エリート養成・教科書の位置）」、「教員の在り方（選任・給与・処遇）」、「公教育の管理（教育行政）」、「成人教育」の視点で的確に整理され、タレーラ

ン案、コンドルセ案、ルペルティエ案、ブキエ法、ラカナル法、ドヌー法関連史料のどこに注目すべきかが明示された。

Lepeletier

1 各種文書

[Divers document] / Félix Lepeletier; 1828

2 Michel Lepeletier Saint Fargeauの作品：憲法制定議会と通常議会の議員であり、1793年01月20日にParisという国王の新衛兵に殺された。当人の兄弟、Felix Lepeletierから書かされたLepeletierの人生についての作品。Lepeletierの死とそのときの時代についての歴史的な文書。

Oeuvres de Michel Lepeletier Saint-Fargeau : député aux assemblées constituante et conventionnelle, assassiné le 20 janvier 1793, par Paris, garde du roi : précédées de sa vie, par Félix Lepeletier, son frère : suivies de documens historiques relatifs a sa personne, a sa mort, et a l'époque.-- Arnold Lacrosse, imprimeur-libraire ...; 1826

3 生きているジャコバンの辞書：その人たちの偉業。フランスの市民から仲間と兄弟に献呈された辞書。

Dictionnaire des jacobins vivans, dans lequel on verra les hauts faits de ces messieurs / dédié aux frères et amis par quelqu'un, citoyen français.-- De l'imprimerie de Chartres ...; 1799

4 市民Lepeletierにおける総裁政府からのメッセージについてのLot-et-Garonne県議員B. Laujacqの意見。6年プリュヴィオーズ3日の審議。

Opinion de B. Laujacq, député de lot et Garonne, sur le message du Directoire exécutif relatif à la citoyenne Lepeletier : séance du 3 pluviôse, an 6.-- De l'imprimerie de H.J. Jansen, rue des Saints-Pères ...; 1798

5 Cinq-Cents会議へ、Lepeletier AmedeeとFelixから。フランス国民の初めての養子—Lepeletier S—の事件についての記憶。

Félix et Amédée Lepeletier, au Conseil des Cinq-Cents, ou, Mémoire sur l'affaire de S. Lepeletier, première fille adoptive du peuple français.-- De l'imprimerie de la rue Cassette ...; 1798

6 未成年のLepeletierの事件における国民代表B. Laujacqが発表した意見の答え。

Réponse à l'opinion du représentant du peuple B. Laujacq, dans l'affaire de la mineure Lepeletier.-- De l'imprimerie de la rue Cassette ...; 1798

7 Cinq-Cents会議へ、Lepeletier AmedeeとFelix。S.Lepeletier事件や扶助についての新しい視

察。

Felix et Amédée Lepeletier, au Conseil des Cinq-Cents, ou, Nouvelles observations sur l'adoption publique et l'affaire de S. Lepeletier.-- De l'imprimerie de la rue Cassette ...; 1798

8 拘引状、ベルサイユ、4年フロリアル26日 / Sutat から [Seine-et-Oise 県民事裁判機関の裁判官] [Mandat d'amener, Versailles, 26 floréal an IV] / signe Sutat [juge du tribunal civil du département de Seine et Oise]; 1796

9 攻撃的な新聞を配達したための逮捕状。4年プレリアル5日、Sutat から [Seine-et-Oise 県民事裁判機関の裁判官]

[Mandat d'arrêt, pour distribution de journaux et libels [sic] incendiaires, 5 prairial an IV] / signé Sutat [juge du tribunal civil du département de Seine et Oise]; 1796

10 国民公会への当面の問題についての考え。F. Lepelletier から。

Réflexions sur le moment présent, offertes à la Convention nationale / par F. Lepelletier.-- De l'imprimerie de R. Vatar et ass. ...; 1795

11 ニヴォーズ26日会議の市民Lepelletierからのイギリスの憲法の悪とイギリス政府の犯罪についての発表。

Discours sur les crimes du gouvernement britannique et sur les vices de la constitution anglaise, prononcé à la séance du 26 nivôse, par le citoyen Lepelletier.-- De l'Imprimerie des 86 départemens et de la société, aux Jacobins; 1794

12 2年フリメール13日、オム・アルメセクションの市民祭のときのClaude Mulotdager、オム・アルメセクションと協会の会長、の発表。Pelletier、Marat、ChaslierとBeauvaisの追悼。

Discours à l'occasion de la fete civique, donnée par la section de l'Homme Armé, à la mémoire de le Pelletier, Marat, Chaslier & Beauvais, prononcé sur l'autel de la liberté par Claude Mulotdager, président de la section et de la société republicaine de l'Homme-Armé : le 13 frimaire l'an deuxième de la République, une et indivisible, imprimé en vertu de l'arrêté de l'assemblée générale du 15 du même mois.-- De l'imprimerie de Mayer & compagnie, rue Saint-Martin ...; 1794

13 Michel Lepeletierの人生：フランス人の代表であり1793年01月20日に殺された。ジャコバン協会で作られ、ジャコバン協会の前の発表。

Vie de Michel Lepeletier, représentant du peuple français, assassiné à Paris le 20 janvier 1793, faite et présentée à la Société des Jacobins / par Félix Lepeletier, son frère.-- De l'imprimerie des sans-culottes ...; 1794

14 Seine-et-Oise県議員、Marie-Joseph Chenier から国民公会に国民教育委員会と検査官委員会を考慮して発表された報告。

Rapport fait à la Convention nationale, au nom des comités d'instruction publique, et des inspecteurs, par Marie-Joseph Chénier, député du département de Seine-et-Oise.-- De l'Imprimerie nationale, chez Mame, imprimer du département; 1793

15 Seine-et-Oise県議員、Marie-Joseph Chenier から国民公会に国民教育委員会と検査官委員会を考慮して発表された報告。

Rapport fait à la Convention nationale, au nom des comités d'instruction publique et des inspecteurs, par Marie-Joseph Chenier, député du département de Seine-&-Oise.-- De l'imprimerie de Marlier; 1793

16 Michel Lepeletierの国民教育計画についての1793年07月30日に発表されたParis県議員、Fourcroy、の意見。

Opinion de Fourcroy, député du département de Paris, sur le projet d'éducation nationale de Michel le Pelletier, prononcée dans la séance du 30 juillet 1793.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

17 国民教育委員会を考慮して、Maximilien Robespierreから国民公会へのMichel Lepelletier国民教育計画についての発表。

Plan d'éducation nationale de Michel Lepelletier, présenté [i.e. présenté] à la Convention par Maximilien [i.e. Maximilien] Robespierre, au nom de la commission d'instruction publique.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

18 1793年01月30日のMichel Lepelletierの記念に追悼式の報告。

Récit de la fête funèbre célébrée en mémoire de la mort de Michel Lepelletier, député à l'Assemblée conventionnelle, le 30 janvier 1793, l'an deuxième de la République française.-- De l'imprimerie de Marlier, imprimeur du département du Nord; 1793

19 警備員からSeine-Inferieure県のForges-les-Eauxに送られた報告。Paris人殺しの自殺を確認するため。

Rapport des commissaires envoyés à Forges-les-Eaux, département de la Seine-Inférieure, pour constater les faits relatifs suicide de l'assassin Paris / par J.L. Tallien.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

20 MaratとLe PelletierのためにPiquesセクションが組織した追悼式の時の市民Sadeの発表。

Discours prononcé à la fête décernée par la section des Piques, aux mânes de Marat et de Le Pelletier, par Sade, citoyen de cette section et membre de la Société populaire.-- De l'imprimerie de la section des Piques, rue S. Fiacre ...; 1793

21 Lepelletier と Marat 胸像の開会のためや自由の木を聖別するための国家会計事務局からの市民祭。

Fête civique, donnée par le bureau de comptabilité nationale, pour l'inauguration des bustes de Lepelletier et de Marat, et la consécration d'un arbre à la liberté : le 14 brumaire de l'an deuxième de la République française, une et indivisible.-- De l'imprimerie du citoyen Prault aîné ...; 1793

22 市民 David 議員が報告した演説。1793年3月29日に国民公会の前で Michel Lepelletier の死の床を描いてある自作のタブローをプレゼントした。

Discours prononcé à la Convention nationale, le 29 mars 1793, par le citoyen David, député, en offrant un tableau de sa composition, représentant Michel Lepelletier au lit de mort.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

23 宣言：市役所が Ville-Affranchie 市の市民のもので。共和国には Lepelletier と Marat が殉教者です。Challier も人民の友であり、法の剣で殺され、法律的に殺めた。

Proclamation : la municipalité aux citoyens de Ville-Affranchie : la République avoit déjà pour martyrs Lepelletier et Marat, Challier, aussi l'ami de peuple, fut assassiné avec le glaive de la loi, des monstres l'immolèrent juridiquement-- De l'imprimerie de P. Bernard ...; 1793

24 Lot-et-Garonne 県：国民公会からフランス人へ。国民公会の命令で印刷された。

Département de Lot et Garonne : la Convention nationale aux François : imprimé par ordre de la Convention.-- Chez la Ve. Noubel & Fils aîné, imprimeur du département, & libraires ...; 1793

25 Marat と Lepelletier のためにモンブランセクションからの追悼式。2年、フリメール12日。

Fete en l'honneur de Marat et Lepelletier, célébrée par la section du Mont-Blanc, le 12 frimaire, l'an deuxième de la République.-- De l'imprimerie de la citoyenne Fonrouge, jardin de la Révolution ...; 1793

26 Marat と Lepelletier の胸像を開会の際に読まれた詩。

Stances irrégulières lues à la fête de l'inauguration des bustes de Marat & Lepelletier, célébrée par les employés du département de l'Intérieur.-- [s.n.]; 1793

27 2年フリメール：Marat と Lepelletier の胸像のアポテオズの際に Paris 県の検事長、市民 Lulier が Bon Conseil セクションの総会の前に演説。

Discours prononcé par le citoyen Lulier, procureur général syndic du département de Paris, 1er. décade frimaire, an 2me. de la République, dans l'assemblée générale de la section Bon-Conseil, à la suite de l'apothéose [sic] des bustes de Marat et Le Pelletier : imprimé par ordre de l'assemblée générale.-- De l'imprimerie de Pelletié, rue Française ...; 1793

28 Allier県：Lepelletierの胸像の開会式とMoulins民主協会の公開審議の調書。フランス人民代表、Fouche de Nantes、国民公会議員の前。

Département de l'Allier : procès-verbaux de l'inauguration du buste de Lepelletier, et des séances publiques des autorités constituées et de la Société populaire de Moulins, tenues en présence de Fouché de Nantes, représentant du peuple, député par la Convention nationale près les départemens du centre et de l'ouest.-- De l'imp. de L. Al. Pavy, imprimeur du département de l'Allier; 1793

29 都市地区：国のために犠牲となった国民代表LepelletierとMaratの胸像の開会の日に発表された市民祭の調書。

Section de la Cité : procès-verbal de la fête civique, célébrée le jour de l'inauguration des bustes de Lepelletier et Marat, représentans du peuple, morts victimes de leur dévouement à la patrie.-- De l'Imprimerie de Ve Hérissant ...; 1793

30 平等と自由の友の協会。St Honore Jacobinsの前

Société des amis de la liberté et de l'égalité, séante aux ci-devant Jacobins St-Honoré, à Paris.-- Chez G.F. Galletti, imprimeur, aux Jacobins ...; 1793

31 国民公会のデクレ、1793年01月21日、フランス共和国2年目。フランスパンテオンが国民代表Michel Lepelletierをほめたたえて、人殺しのParis旧国王の新衛兵の公訴。

Décret de la Convention nationale, du 21 janvier 1793, l'an second de la République française, qui décerne les honneurs du Panthéon français à Michel Le Pelletier, représentant du peuple, & décrète d'accusation Paris, ancien garde du roi, son assassin.-- De l'imprimerie de J.F. Tournel père & fils, imprimeurs du département & du district ...; 1793

32 国民公会で、Toulouse共和協会がフランス国民代表Michel Lepelletierのための追悼式を開いた。Desclassan未亡人の家で。

Fête funebre consacrée à la mémoire de Michel Le Pelletier, représentant du peuple français a la Convention nationale, par la Société républicaine de Toulouse.-- Chez la veuve Desclassan, imprimeur du district & de la municipalité; 1793

33 1793年01月24日：暴君の死を表決した国民公会議員Michel Lepelletierが1793年01月20日に殺され、当人の追悼式についての国民公会が命じた調書。

Procès-verbal ordonné par la Convention nationale, des faits relatifs aux funérailles de Michel Lepelletier, député à la Convention nationale, assassiné, le 20 janvier 1793, l'an 2 de la République, pour avoir voté la mort du tyran ... : du 24 janvier 1793, l'an 2 de la République française.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

34 Louis Capetの裁判。

Procès de Louis Capet.-- De l'imprimerie de Wagrez, imprimeur du département; 1793

35 報道の自由

Liberté de la presse.-- [s.n.]; 1792

36 フランス人国王、ルイ16世の裁判についてのLepelletierの意見。

Opinion de L.M. Lepelletier sur le jugement de Louis XVI, ci-devant roi des François.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

37 国民議員で。1791年12月20日に発表されたYonne県会に所属している公務員の演説。

Adresse des administrateurs composant le conseil général du département de l'Yonne, à l'Assemblée nationale : présentée le 20 décembre 1791.-- De l'Imprimerie nationale; 1791

38 大議会からジャコバンクラブの公報という文書にたいしての答え。

Réponse a un écrit intitulé, Bulletin de la grande assemblée au Club des Jacobins.-- De l'Imprimerie nationale; 1790

39 Tronchetが発表した2つの改正についてのPelletierからの答えの説明。

Éclaircissemens sur les réponses faites par M. Pelletier à deux amendemens proposés par M. Tronchet.-- Chez Baudouin, imprimeur de l'Assemblée nationale ...; 1790

40 王政復古時代の政治的な受刑者を担当していた委員会の会長、Monsieur le Marechalへの手紙。

[Minute d'une lettre à Mr. le maréchal, président de la commission des condamnés sous la Restauration] / Félix Lapeletier

41 Lepelletierの追放、裁判と破産についての伝記の記録。

[Minute d'une note biographique sur son bannissement, son exil, ses procès, sa ruine] / Félix Lapeletier

42 王政復古時代の政治的な有罪判決を担当していた委員会への願書の記録。

[Minute d'une pétition adressée à la commission chargés des condamnations politiques sous la Restauration] / Félix Lapeletier

43 Merlin de Douaiへの手紙の記録。

[Minute d'une lettre à Merlin de Douai]

44 Michel Lepelletierの死：3幕構成の悲劇

La mort de Michel Le Pelletier : tragédie en trois actes, et en vers.-- Chez tous les marchands de nouveautés

45 新使徒行伝：共和主義者へのアルファベット。

Nouveaux actes des apotres : alphabet à l'usage des républicains-- De l'imp. de J.-M. Errard, propriétaire du Reveleateur ...

46 M. Lepelletier

M. Lepelletier / H. Grevedon.-- I. lith. de Delpech

47 VendomeでのAmedee LepeletierがFelix Lepeletierの弁護を務める。高等法院の裁判官の前。

Défense de Félix Lepeletier, par Amédée Lepeletier, adressée aux jurés et juges de la Haute-Cour, séante à Vendôme.-- De l'imprimerie de R. Vatar ...

48 6年フリメール22日の審議：Poullain、Grandprey、LaujacqとChazalが所属している委員会の代表として、J.P. Chazal – Gard県議員—の市民Lepeletier事件や扶助についての報告。

Rapport fait par J.P. Chazal, député du Gard, au nom d'une commission spéciale, composée des représentans du peuple Poullain-Grandprey, Laujacq et Chazal, sur les effets de l'adoption & l'affaire particulière de la citoyenne Lepeletier, adoptée au mom du peuple français : séance du 22 frimaire an 6.-- De l'Imprimerie nationale

49 市民Lepeletier事件と扶助における総裁政府からのメッセージについてのJura県議員、F.J. Febvreの意見。

Opinion de F.J. Febvre, député du Jura, sur le message du Directoire exécutif, relatif à la citoyenne Lepeletier, & sur l'adoption publique : séance du 21 pluviôse an 6.-- De l'Imprimerie nationale

50 国民公会議員への市民Lepelletier Felixの手紙。

Lettre du citoyen Félix Lepelletier, aux membres de la Convention.-- De l'Imprimerie patriotique et républicaine ...

51 Michel Lepelletierの国民教育計画についてジャコバンの前に発表したFelix Lepelletier

Plan d'éducation nationale de Michel Lepletier [i.e. Lepeletier] présenté aux Jacobins / par Felix Lepeletier.-- De l'imprimerie de Baudouin, [1793]

Bouquier

1 公教育委員会からの教育の最後のレベルについてのブキエの報告と政令法案

Rapport et projet de décret, sur le dernier degré d'instruction, par G. Bouquier, présentés au nom du comité d'instruction publique.-- De l'Imprimerie nationale; 1794

2 国立美術館にコレクションされている絵画や美術品の修復におけるブキエの報告と政令法案

Rapport et projet de décret, relatifs à la restauration des tableaux et autres monumens des arts, formant la collection du Muséum national / par G. Bouquier, au nom du comité d'instruction publique.-- De l'Imprimerie nationale; 1794

3 公教育委員ブキエの「国民教育計画」という報告と政令法案

Rapport et projet de décret : formant un plan général d'instruction publique / par G. Bouquier, membre de la Convention nationale & du comité d'instruction.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

4 共和暦2年ニヴォーズ2日の審議における声明フルクロワ、ブキエ、ティボドの演説についてのオワーズ県議員ポルティエの発表

Instruction publique par L. Portiez, député de l'Oise, sur les discours de Fourcroy, Bouquier et Thibaudeau : prononcée dans la séance du 2 nivôse l'an 2 de la République une & indivisible.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

5 平等と自由の友の協会の書簡、パリにて、ジャコバンの前で

Épître à la Société des amis de la liberté et de l'égalité, séante aux ci-devant Jacobins, à Paris / par Gabriel Bouquier, député du département de la Dordogne à la Convention nationale.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

6 ルイ16世の裁判についてのドルドーニュ県議員ガブリエル=ブキエの意見

Opinion de Gabriel Bouquier, député du département de la Dordogne, sur le jugement de Louis XVI.-- De l'Imprimerie nationale; 1792

7 「憲法の友への100年祭賛歌」トゥラソンクラブのガブリエル=ブキエによる

Poème séculaire aux amis de la constitution, par Gabriel Bouquier, du club de Terrasson.-- Chez Joseph Robin, imprimeur de la Société des amis de la constitution; 1791

8 ガブリエル=ブキエのサンキュロットへの書簡

Épître aux sans-culottes / par Gabriel Bouquier, député du département de la Dordogne à la Convention nationale.-- De l'imprimerie du Républicain

9 自由への歌、ガブリエル＝ブキエによる、国民公会において

Hymne à la liberté, par Gabriel Bouquier, député du département de la Dordogne à la Convention nationale.-- De l'Imprimerie nationale

Daunou

1 フランス学士院のM-J de Chenierについての人生と著作。

Notice sur la vie et les ouvrages de M.-J. de Chénier, de l'institut de France / par M.***-- Dabin, libraire ... : Bleuet, libraire ... : De l'imprimerie de D. Colas ...; 1811

2 3年メスイドール21日審議のOnze委員会の代表、市民Daunouの報告。

Discours prononcé, au nom de la commission des onze, par le citoyen Daunou, dans la séance du 21 messidor, an III.-- De l'Imprimerie nationale; 1795

3 3年フリユクティドール21日国民公会審議の公安委員会代表Daunouの報告。

Rapport fait par Daunou, au nom des comités de salut public et de sureté générale, dans la séance de la Convention nationale du 21 fructidor, l'an troisième de la République française-- De l'imprimerie du département de Seine & Oise; 1795

4 4年ヴァンデミエール11日、国民公会審議の公安委員会代表Daunouの報告。

Rapport fait par le représentant du peuple Daunou, au nom des comités de salut public et de sûreté générale, dans la séance de la Convention nationale du 11 vendémiaire, l'an quatrième de la République française-- De l'Imprimerie de la République; 1795

5 パリ市：1793年4月27日、国家財産委員会。

Commune de Paris : commission de l'administration des biens nationaux [i.e. nationaux], au jour d'hui vingt sept avril mil sept cent quatre-vingt-treize l'an deuxième de la République française ... / Daunou; 1793

6 Pas-de-Calais県の国民公会議員、P.C.F. Daunouの公安委員会の計画についての注意。

Remarques sur le plan proposé par le Comité de salut public, par P.C.F. Daunou, député du Pas-de-Calais à la Convention nationale.-- De l'Imprimerie nationale; 1793

7 Pas-de-Calais県議員Daunouの憲法における政治論。人権宣言の計画および社会国家が築からなければならない主義について。

Essai sur la Constitution, par P.C.F. Daunou, député du Pas-de-Calais. Projet de déclaration des droits de l'homme et du citoyen, ou, Des principes sur lesquels l'État social doit être fondé.-- De

l'Imprimerie nationale; 1793

8 4月26日の審議に国民公会で、市民Daunouの憲法労働についての動議の発表。

Motion d'ordre sur le travail de la Constitution, prononcée par le C. Daunou, a la tribune de la Convention nationale, dans la séance du 26 avril.- De l'Imprimerie nationale; 1793

9 Pas-de-Calais県の議員Daunouからの「憲法の論じ方についての注意」。

Observations sur la maniere de discuter la Consitution / par P.C.F. Daunou, député du Pas-de-Calais.- De l'Imprimerie nationale; 1793

10 国民公会議員と公教育委員会の議員としてのP.C.F. Daunouの「公教育についての政治論」

Essai sur l'instruction publique, par P.C.F. Daunou, député à la Convention nationale, & membre du comité d'instruction.- De l'Imprimerie nationale; 1793

11 Louis Capet の裁判における国民公会のPas-de-Calais県の議員、P.C.F. Daunouの意見。

Opinion de P.C.F. Daunou, député du Pas-de-Calais à la Convention nationale, sur le jugement de Louis Capet.- De l'Imprimerie nationale; 1792

12 Louis Capet の裁判における国民公会のPas-de-Calais県の議員、P.C.F. Daunouの意見

Opinion de P.C.F. Daunou, député du Pas-de-Calais à la Convention nationale, sur le jugement de Louis Capet.- De l'imprimerie de Jean Martel ainé, imprimeur du département; 1792

13 国王の事件について、P.C.F. Daunouの補足的な意見。

Complément de l'opinion de P.C.F. Daunou, député du Pas-des-Calais, sur l'affaire du ci-devant roi.- De l'Imprimerie nationale; 1792

14 ルイ16世の裁判について、Pas-de-Calais県の議員Daunouの考え。

Considérations sur le procès de Louis XVI / par P.C.F. Daunou, député du département du Pas-de-Calais.- De l'Imprimerie nationale; 1792

15 オラトリオ会の教師たちから、国民議会への教育計画。

Plan d'éducation présenté à l'Assemblée nationale, au nom des instituteurs publics de l'Oratoire.- Chez Volland, libraire ...; 1790

16 フランス人の社会契約:1789年07月23日

Le contrat social des français : 23 juillet 1789.- [s.n.]; 1789

17 3年ジェルミナル14日審議、「Rue de la loiからFauxbourg Germainまでに移動された劇場

のアーティストの請求」についての公教育委員会と公共財政委員会からの報告とデクレ計画。

Rapport et projet de décret sur les réclamations des artistes transférés du théâtre de la rue de la loi, à celui du fauxbourg Germain, présentés au nom des comités d'instruction publique et des finances, dans la séance du 14 germinal, l'an III, par P.C.F. Daunou, représentant du peuple.-- De l'Imprimerie nationale

18 テルミドール23日審議、08月10日の記念日の国民公会長Daunouの発表。

Discours prononcé par le cen. Daunou, président de la Convention nationale, dans la séance du 23 thermidor, jour anniversaire du 10 août.-- De l'Imprimerie de la République

19 Onze委員会の代表としてDaunouが選挙について報告と法案を発表した。

Rapport et projet de loi sur les élections, présentés au nom de la commission des onze / par P.-C.-F. Daunou, représentant du peuple.-- De l'Imprimerie nationale

20 ジェルミナル13日審議：国民公会への公教育委員会の代表Daunouの報告。

Rapport fait à la Convention nationale, dans sa séance du 13 germinal, au nom du comité d'instruction publique, par P.C.F. Daunou, représentant du peuple.-- De l'Imprimerie nationale

21 7年フリュクティドール27日：祖国の緊急事態を宣する提案によつてのDaunouの意見。

Opinion de Daunou (du Pas-de-Calais) , sur la proposition de déclarer la patrie en danger : séance du 27 fructidor an 7.-- De l'Imprimerie nationale

22 フロリアル25日にCinq-Cents委員会の法令が実施された後、特別な学校の構成についてのP.C.F. Daunouからの報告が印刷された。

Rapport sur l'organisation des écoles spéciales, par P.C.F. Daunou, imprimé en exécution d'un arrêté pris par le Conseil des Cinq-Cents le 25 floréal dernier.-- De l'Imprimerie nationale

23 ヴァントーズ10日審議：共和国政府の打破し王位の回復を目的としていた5年ブリュビオーズ12日に明らかになった陰謀によつて、Jean Debryが報告した。出席している議員は代表Roger Martin、代表Dubois、代表Chazalと代表Daunou。

Rapport fait par Jean Debry, au nom d'une commission spéciale, sur la conspiration découverte le 12 pluviôse an V, tendante au renversement du gouvernement républicain et au rétablissement de la royauté : les autres membres de la commission sont les représentans Roger Martin, Dubois (des Vosges) , Chazal, Daunou : séance du 10 ventôse, an V.-- De l'Imprimerie nationale

24 6年フリュクティドール18日審議：フリュクティドール18日記念日についてのCinq-Cents委員会長のP.C.F. Daunouの発表。

Discours prononcé par Daunou, president du Conseil des Cinq-Cents, sur l'anniversaire du 18

fructidor : séance du 18 fructidor an 6.-- De l'Imprimerie nationale

25 7年ヴァンデミエール1日審議：共和国の創設際にCinq-Cents委員会の会長P.C.F Daunouからの演説。

Discours prononcé par P.C.F. Daunou, président du Conseil des Cinq-Cents, pour l'anniversaire de la fondation de la République : séance du premier vendémiaire an 7.-- De l'Imprimerie nationale

26 立法機関を一新することについての特別委員会代表P.C.F Daunouの報告。

Rapport sur le renouvellement du Corps législatif, fait par P.C.F. Daunou, au nom d'une commission spéciale.-- De l'Imprimerie nationale

27 現在の政府をさらに強める方法についてのOnze委員会代表Daunouの報告。

Rapport sur les moyens de donner plus d'intensité au gouvernement actuel, présenté au nom de la commission des onze / par P.C.F. Daunou, représentant du peuple.-- De l'Imprimerie nationale

28 5年フリメール5日の審議：報道の犯罪の抑制についての特別委員会代表Daunouの報告。

Rapport fait par Daunou, au nom d'une commission spéciale, sur la répression des délits de la presse : séance du 5 frimaire, an 5.-- De l'Imprimerie nationale

29 ヴァンデミエール23日審議：Onze委員会と公安委員会代表Daunouから公教育についての演説。

Rapport sur l'instruction publique, présenté au nom de la commission des onze et du Comité de salut public, dans la séance du 23 vendémiaire, par P.C.F. Daunou.-- De l'Imprimerie nationale

30 8年メスイドール3日：マリン語での共和国の軍隊の勝利におけるコンスルのメッセージについてDaunouが発表する。

Rapport fait par Daunou, sur un message des Consuls relatif à la victoire remportée par l'armée de la République, à Maringo : séance du 3 messidor an 8.-- De l'Imprimerie nationale

31 フランス共和国3年テルミドール23日、08月10日の記念日の際、国民公会の会長の演説。

Discours prononcé, par le président de la Convention nationale, pour la fête du 10 août, le 23 thermidor, l'an troisième de la République française-- De l'Imprimerie nationale

32 9年二ヴォーズ15日：共和国の軍隊は国家に貢献したという法案を応援するため、Daunouが立法機関へ演説した。

Discours prononcé au Corps législatif, par le citoyen Daunou, tribun, pour appuyer les projets de lois tendant à déclarer que les armées de la République ont bien mérité de la patrie : séance

du 15 nivose an 9.-- De l'Imprimerie nationale

33 Onze 委員会代表として Daunou が立法機関構成についての規定計画を発表した。

Projet de réglemant sur l'organisation du Corps législatif, présenté au nom de la commission des onze / par P.C.F. Daunou.-- De l'Imprimerie nationale

34 5年5日目、国立学院の副院長 Daunou の両方の委員会の前の演説。

Discours prononcé à la barre de l'un et de l'autre conseil, par le citoyen Daunou, vice-président de l'Institut national, dans la séance du cinquième jour complémentaire, an 5.-- De l'Imprimerie nationale

35 3年ジェルミナル27日：公教育委員会と公共財政委員会の代表として Daunou が「アーティストや学者への褒奨」という報告を発表した。

Rapport sur les récompenses à distribuer aux savans et aux artistes, présenté au nom du comités d'instruction publique et des finances, dans la séance du 27 germinal, l'an III, par P.C.F. Daunou, représentant du peuple.-- De l'Imprimerie nationale

36 9年プリュビオーズ7日：特別裁判を創設するための法案に反対し、意見を発表した Daunou 演説家。

Opinion de Daunou, tribun, contre un projet de loi tendant à établir des tribunaux spéciaux : séance du 7 pluviöse an 9.-- De l'Imprimerie nationale

37 5年ヴァントーズ14日、4年フロリアル21日の法律について、Daunou、Dumolard、Roux と Dupire からの報告と決議案。

Rapport et projet de résolution, présentes par Dupire, au nom d'une commission composée des représentans Daunou, Dumolard, Roux et Dupire, sur la loi du 21 floréal de l'an 4, séance du 14 ventöse, an 5.-- De l'Imprimerie nationale

38 フランス共和国の4年ブリュメール9日：Cinq-Cents 委員会審議の調書の一部分。

Extrait du procès-verbal de la séance du Conseil des Cinq-Cents, du 9 brumaire, an 4 de la république française une et indivisible.-- De l'Imprimerie nationale

おわりに

以上の4名のパネラーによる報告をめぐる議論では、それぞれの専門の分野に係わる諸課題について質疑応答があり、短時間ではあったが問題の整理と今後の研究上の展望が示された。その上で、それらの問題を分析するに際し、「ベル文」史料がどのように貢献できるのかが検討され、その活用の在り方が明示された。

「人権」、「社会保障」、「近代経営論」、「教育」という今日的に見ても重い問題を抱えている各テーマが、フランス革命期においてすでに議論され様々な試行錯誤を繰り返し一定の方向性を見出そうとしていた痕跡からは、21世紀の現段階においても注視しなければならない論理や価値基準が隠されていることがうっすらとではあるが浮かび上がってきているように見えた。いまではすっかり忘れ去られ人類の歩みの中に埋もれてしまっている、こうした一種のブラックホールがさらに確かな研究対象となって光り輝くことを期待したい。